

講義概要

芸能バラエティ科

授業科目一覧 芸能バラエティ科

● 1年次

● 2年次

	授業科目名	修得単位時間	必修・選択	実務経験のある 教員等授業	省令基準時数分 シラバス提出授業		授業科目名	修得単位時間	必修・選択	実務経験のある 教員等授業	省令基準時数分 シラバス提出授業
実習・演習科目	進級発表	72	必	○		実習・演習科目	卒業制作	72	必	○	
	バラエティ番組演習Ⅰ	36	必	○	◆		ネタみせ・お笑いライブⅢ	54	必選	○	
	バラエティ番組演習Ⅱ	36	必	○			バラエティ演技・バラエティライブⅢ			○	
	ネタみせ・お笑いライブⅠ	54	選	○			ライブパフォーマンス・ヴォーカルライブⅢ			○	
	ライブパフォーマンス・ヴォーカルライブⅠ			○							
	ネタみせ・お笑いライブⅡ	54	選	○			ネタみせ・お笑いライブⅣ	54	必選	○	
	ライブパフォーマンス・ヴォーカルライブⅡ			○							
	バラエティ演技・バラエティライブⅣ	○									
	漫才Ⅰ	36	選	○			ライブパフォーマンス・ヴォーカルライブⅣ	○			
	ヴォイストレーニングⅠ			○							
	漫才Ⅱ	36	選	○			バラエティ番組演習Ⅲ	36	選	○	
	ヴォイストレーニングⅡ			○							
	コントⅠ	36	選	○			バラエティ番組演習Ⅳ	36	選	○	
	ヴォーカルレッスンⅠ			○							
	コントⅡ	36	選	○			漫才Ⅲ	36	選	○	◆
	ヴォーカルレッスンⅡ			○							
							バラエティ表現Ⅲ	36	選		
							ヴォイストレーニングⅢ			○	
					漫才Ⅳ	36	選	○			
					バラエティ表現Ⅳ			○			
					ヴォイストレーニングⅣ	36	選	○			
					コントⅢ			○			
					ソロヴォーカルⅠ	36	選	○			
					コントⅣ			○			
					ソロヴォーカルⅡ	36	選	○			
					合同コント			○			
	小計	396				小計	432				
専門科目	ネット動画制作Ⅰ	36	必			専門科目	ネット動画制作Ⅱ	36	必		
	発声・滑舌	36	必	○			MC・トーク	36	必	○	
	演技・表現	36	必	○			タレント心得講座Ⅱ	36	選	○	
	キャラヴォイスⅠ	36	必	○			プロデューサーゼミⅡ			○	
	ネタ構成	36	選	○			キャラヴォイスⅡ	36	選	○	
	レコーディング基礎Ⅰ			○							
	キャラクター	36	選	○	◆		レコーディングワークⅠ	36	選	○	◆
	レコーディング基礎Ⅱ			○							
	タレント心得講座Ⅰ	36	選	○			レコーディングワークⅡ	36	選	○	
プロデューサーゼミⅠ	○										
					タレントネットSNS活用講座	36	選	○			
	小計	252				小計	252				
特別科目	学園行事Ⅰ	72	必			特別科目	学園行事Ⅱ	72	必		
	芸術鑑賞Ⅰ	36	必				芸術鑑賞Ⅱ	36	必		
	小計	108				小計	108				
一般選択科目	アクターズレッスン	36	選	○		一般選択科目	女性バラエティタレント実習	36	選	○	
	落語	36	選	○			セルフプロモーション	36	選	○	
	講談	36	選	○			Vtuber動画制作	36	選		
	パントマイム入門	36	選	○	◆						
	舞台演劇鑑賞	72	選								
	小計	216				小計	108				

1年次時間数 合計 972 時間

2年次時間数 合計 900 時間

全設置授業時数	1872	時間
実務経験のある教員等による授業数	1476	時間
省令で定める基準授業時数 シラバス提出分	180	時間

科目名	進級発表(鷹澤)								
担当教員	鷹澤 洋介								
講師紹介	東京アナウンス学院教員。文教大学文学部卒業後、同大学にて2年間の助手を経て、本学に就任。主に進路・就職指導を担当。その後東放学園キャリアサポートセンターにてエンターテインメント業界と学生を結ぶ窓口として活躍、現在に至る。								
開講年次	1年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	72時間	開講時期	後期
到達目標	人に言われたことに従うのではなく、自分たちで企画・構成などのライブ全体を考えることによって主体性を身につける。								
授業概要	1年間学んできたことの成果発表。自分たちで考えたライブを制作する。アイデアを出し合い企画・構成などを考え、コースの専門性を生かしつつ、毎月のライブとは違ったオリジナルな内容を考える。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ライブテーマについて話し合い 2. テーマに沿った出し物を考える① 3. テーマに沿った出し物を考える② 4. 構成台本作成① 5. 構成台本作成② 6. 出し物練習① 7. 出し物練習② 8. 出し物練習③ 9. 小道具・衣装制作① 10. 小道具・衣装制作② 11. 場当たり・稽古① 12. 場当たり・稽古② 13. 通し稽古① 14. 通し稽古① 15. 振り返り～総まとめ 								
評価方法	発表の練習、準備などの積極的な参加。当日発表のクオリティ。								
テキスト・参考書等	特になし								
備考									

科目名	進級発表(SAKURA)								
担当教員	SAKURA								
講師紹介	ダンサー／「TUBE」「及川光博」「堀江由衣」「鈴木亜美(a-nation)」等バックダンサー。紅白、Mステ出演。アイドルや声優等の振り付けアシスタント。担当教員はダンサーとして専門ジャンルに長け、数多くの実務経験に基づいて指導を行う。								
開講年次	1年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	72時間	開講時期	後期
到達目標	自分達のパフォーマンスの更なる強化と卒業生との合同楽曲などの製作に意欲的に取り組めるようにしましょう。								
授業概要	自分達のパフォーマンスにおいて、更に意欲的に取り組んでもらい、強化していきます。それと同時に、卒業生と一緒に歌って踊るパフォーマンス作品の作品づくりや練習、製作活動にもしっかりと参加してもらえようようにしていきたい。そして、進級公演に向けての事務的な内容の役割分担などもこなしていけるようにしたい。みんなで協力し合いながら公演に向けて1つのライブを仕上げていけるようにしていきましょう。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. アップ・ストレッチ・筋トレ・リズムトレーニング・作品づくり・2年生との合同楽曲の話し合いや練習① 2. アップ・ストレッチ・筋トレ・リズムトレーニング・作品づくり・2年生との合同楽曲の話し合いや練習② 3. アップ・ストレッチ・筋トレ・リズムトレーニング・作品づくり・2年生との合同楽曲の話し合いや練習③ 4. アップ・ストレッチ・筋トレ・リズムトレーニング・作品づくり・2年生との合同楽曲の話し合いや練習④ 5. アップ・ストレッチ・筋トレ・リズムトレーニング・作品づくり・2年生との合同楽曲の話し合いや練習⑤ 6. アップ・ストレッチ・筋トレ・リズムトレーニング・作品づくり・2年生との合同楽曲の話し合いや練習⑥ 7. アップ・ストレッチ・筋トレ・リズムトレーニング・作品づくり・2年生との合同楽曲の話し合いや練習⑦ 8. アップ・ストレッチ・筋トレ・リズムトレーニング・作品づくり・2年生との合同楽曲の話し合いや練習⑧ 9. アップ・ストレッチ・筋トレ・リズムトレーニング・作品づくり・2年生との合同楽曲の話し合いや練習⑨ 10. アップ・ストレッチ・筋トレ・リズムトレーニング・作品づくり・2年生との合同楽曲の話し合いや練習⑩ 11. アップ・ストレッチ・筋トレ・リズムトレーニング・作品づくり・2年生との合同楽曲の話し合いや練習⑪ 12. アップ・ストレッチ・筋トレ・リズムトレーニング・作品づくり・2年生との合同楽曲の話し合いや練習⑫ 13. アップ・ストレッチ・筋トレ・リズムトレーニング・作品づくり・2年生との合同楽曲の話し合いや練習⑬ 14. アップ・ストレッチ・筋トレ・リズムトレーニング・作品づくり・2年生との合同楽曲の話し合いや練習⑭ 15. アップ・ストレッチ・筋トレ・リズムトレーニング・作品づくり・2年生との合同楽曲の話し合いや練習⑮ 								
評価方法	平常点 / 成果発表								
テキスト・参考書等									
備考	時間を無駄にしないように、しっかりと練習を行ってください。								

科目名	バラエティ番組演習Ⅰ								
担当教員	佐藤 俊明								
講師紹介	構成作家／よしもとの劇場作家として活動。現在は「Q様!!」「みなさんのおかげでした」「山里亮太の不毛な議論」他、テレビ・ラジオ・ネット番組等の構成を手掛ける。担当教員は講師作家として多くの番組を手がけている。この実務経験を活かし本講座の指導にあたる。								
開講年次	1年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	後期
到達目標	バラエティ番組の出演者として求められる基礎的な振るまいやルールなどを身に着け、実際のバラエティ番組で活躍できる芸人・タレントを育成する。								
授業概要	バラエティ番組やライブなどで行われる企画・コーナーを授業でピックアップし、実際に演者となって演習してみる。そこで、演者に求められる振るまいやルールなどを実践を通じて指導していく。バラエティ番組に欠かせないトーク力や瞬発力なども養っていく。また、実際にはなかなか知り得ない、嫌われる行動や発言などもスタッフの立場から指摘したり、実際の現場でも学びにくい要素を網羅することを目指す。バラエティ番組演習Ⅰでは、必ず知っておきたい基礎的な部分を中心に指導していく。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス・自己紹介のポイント 2. ゲームコーナー基礎① 3. ゲームコーナー基礎② 4. ゲームコーナー基礎③ 5. ゲームコーナーでのチームプレイの重要性 6. ゲームコーナー基礎④ 7. ゲームコーナー基礎⑤ 8. ゲームコーナー基礎⑥ 9. 瞬発力をつけるゲームコーナー① 10. 瞬発力をつけるゲームコーナー② 11. トーク力をつけるゲームコーナー① 12. トーク力をつけるゲームコーナー② 13. ゲームコーナーでやってはいけない振るまい 14. ゲームコーナーでのメンバーの役割の違い 15. まとめ・総括 								
評価方法	平常点、授業の理解度								
テキスト・参考書等	オリジナルのゲームコーナー台本を使用								
備考									

科目名	バラエティ番組演習Ⅱ								
担当教員	佐藤 俊明								
講師紹介	構成作家／よしもの劇場作家として活動。現在は「Q様!!」「みなさんのおかげでした」「山里亮太の不毛な議論」他、テレビ・ラジオ・ネット番組等の構成を手掛ける。担当教員は講師作家として多くの番組を手がけている。この実務経験を活かし本講座の指導にあたる。								
開講年次	1年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	後期
到達目標	バラエティ番組の基本を身に付け、実践に活用できる。バラエティの振る舞い・ルール・意図などを理解する								
授業概要	バラエティ番組の基本は、個人プレーではなくチームで作り上げる集団創作であると認識することから始まります。そのための考え方や振る舞い、台本の意図を正しく汲み取る力を養います。授業では、毎回バラエティ番組を想定した企画やゲームコーナーを演習形式で行います。その中で自身のプレイスタイルやキャラクター、集団の中での役回りを確立していきます。時折、パワーポイントを使用した講義形式の授業も行います。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内容のガイダンス 受講者自己紹介 2. バラエティの基本ゲームコーナーⅡ－① 3. バラエティの基本ゲームコーナーⅡ－② 4. バラエティの基本ゲームコーナーⅡ－③ 5. トーク力を鍛えるゲームコーナー① 6. トーク力を鍛えるゲームコーナー② 7. トーク力を鍛えるゲームコーナー③ 8. 瞬発力を鍛えるゲームコーナー① 9. 瞬発力を鍛えるゲームコーナー② 10. チームプレーを磨くゲームコーナー① 11. チームプレーを磨くゲームコーナー② 12. チームプレーを磨くゲームコーナー③ 13. 発想力を磨くゲームコーナー① 14. 発想力を磨くゲームコーナー② 15. 授業まとめ 								
評価方法	平常点(主体的な習得意欲、出席含む)、授業の理解度								
テキスト・参考書等	毎回授業内容に沿ったオリジナル台本・資料を配布								
備考	体を動かすゲームコーナーもあるので動きやすい服装が望ましい。								

科目名	ネタみせ・お笑いライブⅠ								
担当教員	大輪 貴史								
講師紹介	元お笑い芸人「大輪教授」。2014年に構成作家に転向。以来、テレビ・お笑いライブ等の構成を手がけ、若手お笑い芸人の育成にも力を入れる。担当教員は芸人の経験があり現在は講師作家として多くの番組を手がけている。この実務経験を活かし本講座の指導にあたる。								
開講年次	1年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	54時間	開講時期	前期
到達目標	漫才、コントなどのお笑いの「ネタ」を自分で作る。お客様の前で披露して、笑いをとれるようにする。								
授業概要	お笑い芸人の必須要素である、漫才やコントなどの『ネタ』を自分で考え、作っていきます。ライブで発表する前に『ネタみせ』として講師に披露。より笑いを取るためのアドバイスを受けたり、舞台の使い方、演技方、やってはいけないことなどを学んでいきます。またプロになった際に受けるオーディションのシミュレーションや、学校主宰のお笑いライブへの出演準備も兼ねています。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス、自己紹介、一発芸 2. ネタみせ、お笑いライブの準備① 3. ネタみせ、お笑いライブの準備② 4. ネタみせ、お笑いライブの準備③ 5. ネタみせ、お笑いライブの準備④ 6. ネタみせ、お笑いライブの準備⑤ 7. ネタみせ、お笑いライブの準備⑥ 8. ネタみせ、お笑いライブの準備⑦ 9. ネタみせ、お笑いライブの準備⑧ 10. ネタみせ、お笑いライブの準備⑨ 11. ネタみせ、お笑いライブの準備⑩ 12. ネタみせ、お笑いライブの準備⑪ 13. ネタみせ、お笑いライブの準備⑫ 14. ネタみせ、お笑いライブの準備⑬ 15. ネタみせ、お笑いライブの準備⑭ 								
評価方法	平常点、授業の理解、成果発表								
テキスト・参考書等	特になし								
備考	ネタは“自分たちで作る”のが基本原則です。台本作成、稽古して完成させた上で、授業に臨んでください。								

科目名	ライブパフォーマンス・ヴォーカルライブ I								
担当教員	SAKURA								
講師紹介	ダンサー／「TUBE」「及川光博」「堀江由衣」「鈴木亜美(a-nation)」等バックダンサー。紅白、Mステ出演。アイドルや声優等の振り付けアシスタント。担当教員はダンサーとして専門ジャンルに長け、数多くの実務経験に基づいて指導を行う。								
開講年次	1年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	54時間	開講時期	前期
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月のライブで披露する楽曲の振りを覚える ・リズム感や柔軟性、テンポ感を身につける 								
授業概要	オリジナルの課題曲で振付し、1人1人のキャラクターを生かしたパフォーマンス、チームプレイの大切さ、踊りながらの歌唱など、これまでに修得した内容を更に高いレベルに引き上げプロとしての表現力を身につけます。授業はイベントを想定し毎回ダンスの振付のレクチャー、動画を撮影しフォーメーション等の確認は欠かせない。後期はこれまでの授業の成果をあらゆる方面で活かし、メンバー全員で観客の前でパフォーマンスを実践、イベントを成功させる。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自己紹介 授業概要の説明 2. 簡単なレッスンで個々のレベルチェック 3. 初めての定期イベントに向けた創作 4. イベント練習 5. イベントリハーサル 6. イベント本番 7. イベントの振り返り、反省／ダンスレッスン 8. イベント創作 9. イベント練習 10. イベントリハーサル 11. イベント本番 12. イベントの振り返り、反省／ダンスレッスン2 13. ダンスレッスン3 14. ダンスレッスン4 15. 前期(主にイベント)の振り返りと反省／ダンスレッスン5 								
評価方法	出席率 / 平常点 / ライブの出演回数								
テキスト・参考書等	オリジナル曲のCD 音源 / スマートフォン								
備考									

科目名	ネタみせ・お笑いライブⅡ								
担当教員	大輪 貴史								
講師紹介	元お笑い芸人「大輪教授」。2014年に構成作家に転向。以来、テレビ・お笑いライブ等の構成を手がけ、若手お笑い芸人の育成にも力を入れる。担当教員は芸人の経験があり現在は講師作家として多くの番組を手がけている。この実務経験を活かし本講座の指導にあたる。								
開講年次	1年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	54時間	開講時期	後期
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・月に1度の学内ライブ用のネタを月1本以上作り続けネタが作れるようになる ・ライブの様子をカメラで撮影し、自分たちで振り返ってみるにより改善点を見つけ、自分たちのキャラクターに合ったオリジナルネタを作り、事務所への所属を目指す 								
授業概要	各授業で学んだことを活かし、ピン・コンビ・トリオなどでオリジナルのネタを作り毎週授業内で披露、構成作家やプロダクション関係者からダメ出しをうけてネタの精度をあげていく。コンビやトリオの相性を知り将来性を考えつつ、組み換えなどをして、事務所所属のための代表的なネタをつくっていく。外部のネタみせにも参加させる。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ネタみせ(3分オリジナル) 2. ネタみせ(3分オリジナル) 3. ネタみせ(3分オリジナル) 4. ネタみせ(3分オリジナル) 5. ネタみせ(3分オリジナル)／学内ライブネタ披露 6. ネタみせ(お笑い青田買い用ネタ、学内ライブ上位3組3分、それ以外1分) 7. ネタみせ(3分オリジナル) 8. ネタみせ(3分オリジナル)／外部ライブを意識したネタづくり 9. ネタみせ(3分オリジナル)／外部ライブを意識したネタづくり 10. ネタみせ(3分オリジナル)／外部ライブを意識したネタづくり 11. ネタみせ(3分オリジナル)／外部ライブを意識したネタづくり 12. ネタみせ(3分オリジナル)／外部ライブを意識したネタづくり 13. ネタみせ(3分オリジナル)／進級発表用ネタ 14. ネタみせ(3分オリジナル)／進級発表用ネタ 15. ネタみせ(3分オリジナル)／スクールJCA 対抗戦用ネタ 								
評価方法	出席率、授業への積極的参加 / 学内ライブネタランキング投票結果 / 学内ライブアンケート								
テキスト・参考書等	机・椅子、学内ライブアンケート / お笑い青田買いライブアンケート / 撮影用カメラ、YouTube 動画								
備考									

科目名	ライブパフォーマンス・ヴォーカルライブⅡ								
担当教員	SAKURA								
講師紹介	ダンサー／「TUBE」「及川光博」「堀江由衣」「鈴木亜美(a-nation)」等バックダンサー。紅白、Mステ出演。アイドルや声優等の振り付けアシスタント。担当教員はダンサーとして専門ジャンルに長け、数多くの実務経験に基づいて指導を行う。								
開講年次	1年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	54時間	開講時期	後期
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・個人のパフォーマンスが前期以上のレベルアップ ・毎月のライブで披露する楽曲の振りを覚える ・リズム感や柔軟性、テンポ感を身につける 								
授業概要	オリジナルの課題曲で振付し、1人1人のキャラクターを生かしたパフォーマンス、チームプレイの大切さ、踊りながらの歌唱など、これまでに修得した内容を更に高いレベルに引き上げプロとしての表現力を身につけます。授業はイベントを想定し毎回ダンスの振付のレクチャー、動画を撮影しフォーメーション等の確認は欠かせない。後期はこれまでの授業の成果をあらゆる方面で活かし、メンバー全員で観客の前でパフォーマンスを実践、イベントを成功させる。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 後期初回のイベントに向けての創作 / ダンスレッスン 2. イベント練習 3. イベントリハーサル 4. イベント本番 5. イベント振り返り、反省 / ダンスレッスン2 6. イベント創作 7. イベント練習 8. イベントリハーサル 9. イベント本番 10. イベント振り返り、反省 / ダンスレッスン3 11. イベント創作 12. イベント練習 13. イベントリハーサル 14. イベント本番 15. 1年間の振り返り、反省 / ダンスレッスン4 								
評価方法	出席率 / 平常点 / ライブの出演回数								
テキスト・参考書等	CD音源 / スマートフォン								
備考									

科目名	漫才 I								
担当教員	中島 たもつ								
講師紹介	太田プロ、マセキ芸能社、オスカープロ、スターダストプロモーション主催ライブ(構成とネタ見せ)「笑っていいとも」「エンタの神様」等の構成。R-1ぐらんぷり審査員。担当教員は講師作家として多くの番組を手がけている。この実務経験を活かし本講座の指導にあたる。								
開講年次	1年次	必/選	選択	授業形態	講義	時間数	36時間	開講時期	前期
到達目標	お笑い芸人としての心構えと芸について理解する。人前で話すことや演じることに慣れる。								
授業概要	お笑い芸人に必要なネタとトークを鍛える講義内容ですすすめていきます。ネタについての講義はボケ・ツッコミの解説から漫才の基本を身につけてもらいます。トークについては「すべらない話」のようなエピソードトークを發表してもらい、それについてアドバイスを伝えます。まず面白さは求めません。人前でパフォーマンスをすることに慣れましょう。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自己紹介、エピソードトーク 2. 「笑いのシステム」について解説 3. 「あるあるネタ」について 4. 芸能界、お笑い界について 5. お笑い芸人について① 6. お笑い芸人について② 7. お笑い芸人に必要な5つの才能 8. テレビ芸について 9. ツッコミについて 10. ボケについて 11. 漫才・コントについて 12. 過去の漫才ネタについて 13. ネタの作り方① 14. ネタの作り方② 15. これまでのまとめと質疑応答 								
評価方法	平常点、毎回の課題発表のレベルは重視します								
テキスト・参考書等	無し								
備考									

科目名	ヴォイストレーニング I								
担当教員	谷口 守								
講師紹介	ミュージシャン・ヴォイストレーナー・作曲家／ソニーレコードよりデビュー。ヴォーカルトレーナーFlorence Riggs氏に師事。現在は自らのソロ及びライブ活動。担当教員はヴォーカリストとしての実演経験を生かし、発声や歌い方等の授業を行う。								
開講年次	1年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期
到達目標	歌唱に対する基礎を形成してゆく。腹式呼吸、リズム感を中心に歌うという事のスキルを身につける。								
授業概要	シンガーに必要な要素は沢山あり、ヴォーカリストは歌だけ歌って入れれば良いというものではないという事まで幅広くレッスンしていく。歌うという事の土台を構築しステージで揺るぎのないパフォーマンスが演じられる事をめざす。今の時代レコーディングでは機械的に歌をレベルの高いものに修正していけるがステージではそうはいかない。MCから体の動き全てで勝負しなければいけない。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 発声基本説明 2. 腹式呼吸 唄とリズム感 基礎の形成 楽曲を用いた発声1 3. 腹式呼吸 唄とリズム感 基礎の形成 楽曲を用いた発声2 4. 腹式呼吸 唄とリズム感 基礎の形成 楽曲を用いた発声3 5. 腹式呼吸 唄とリズム感 基礎の形成 楽曲を用いた発声4 6. 腹式呼吸 唄とリズム感 基礎の形成 楽曲を用いた発声5 7. 腹式呼吸 唄とリズム感 基礎の形成 楽曲を用いた発声6 8. 腹式呼吸 唄とリズム感 基礎の形成 楽曲を用いた発声7 9. 腹式呼吸 唄とリズム感 基礎の形成 楽曲を用いた発声8 10. 腹式呼吸 唄とリズム感 基礎の形成 楽曲を用いた発声9 11. 腹式呼吸 唄とリズム感 基礎の形成 楽曲を用いた発声10 12. 腹式呼吸 唄とリズム感 基礎の形成 楽曲を用いた発声11 13. 腹式呼吸 唄とリズム感 基礎の形成 楽曲を用いた発声12 14. 前期のまとめ 15. 試験 								
評価方法	平常点 / 試験								
テキスト・参考書等	ヴォイトレ本(谷口守著)								
備考									

科目名	漫才Ⅱ								
担当教員	中島 たもつ								
講師紹介	太田プロ、マセキ芸能社、オスカープロ、スターダストプロモーション主催ライブ(構成とネタ見せ)「笑っていいとも」「エンタの神様」等の構成。R-1ぐらんぷり審査員。担当教員は講師作家として多くの番組を手がけている。この実務経験を活かし本講座の指導にあたる。								
開講年次	1年次	必/選	選択	授業形態	講義	時間数	36時間	開講時期	後期
到達目標	お笑い芸人としての考え方について理解する。お笑い芸人としてのオリジナル芸を実践する。笑わせることを目的に話すことや演じることに慣れる。								
授業概要	お笑い芸人に必要なネタとトークを鍛える講義内容で進めていきます。ネタについての講義はボケ・ツッコミの解説から漫才の基本を身につけて貰います。トークについては”すべらない話”のようなエピソードトークを発表してもらい、それについてのアドバイスを伝えます。後期は””笑わせよう“とするチャレンジを求めます。引き続き人前でパフォーマンスをすることに慣れましょう。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 漫才・コントについて① 2. 漫才・コントについて② 3. 漫才・コントについて③ 4. 過去の漫才ネタに挑戦① 5. 過去の漫才ネタに挑戦② 6. ネタの作り方① 7. ネタの作り方② 8. ネタの作り方③ 9. ネタの作り方④ 10. ネタの作り方⑤ 11. それぞれの好きな漫才ネタの完コピ① 12. それぞれの好きな漫才ネタの完コピ② 13. 個人面談① 14. 個人面談② 15. 1年生後期のまとめと質疑応答 								
評価方法	平常点(主体的な習得意欲、出席含む), 授業の理解度, 成果発表								
テキスト・参考書等									
備考									

科目名	ヴォイストレーニングⅡ								
担当教員	谷口 守								
講師紹介	ミュージシャン・ヴォイストレーナー・作曲家／ソニーレコードよりデビュー。ヴォーカルトレーナーFlorence Riggs氏に師事。現在は自らのソロ及びライブ活動。担当教員はヴォーカリストとしての実演経験を生かし、発声や歌い方等の授業を行う。								
開講年次	1年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	後期
到達目標	前期で理解してきた発声の基本を歌唱に結びつけていく。 ポップス、ロックを唄う上で大切なリズムを体で感じ歌唱する。								
授業概要	ヴォーカルに必要な基本を半年間学んで来た所でさらにその基礎力を歌唱に結びつけプロのヴォーカリストとは何が必要なかを学んでいく。リズム感を覚え鍛えて身体を中心からリズム感溢れる歌が唄えるように。歌にも個性が必要で重要な要素である。それぞれの個性に合った唄い方を見つける事を授業の中でつかんでいく。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ストレッチ 声区形成①胸声 2. ストレッチ 声区形成②胸声 3. ストレッチ 声区形成①中声 4. ストレッチ 声区形成②中声 5. ストレッチ 声区形成①頭声 6. ストレッチ 声区形成②頭声 7. ストレッチ声区形成①トータル 唄とリズム感 8. ストレッチ声区形成②トータル 唄とリズム感 9. ストレッチ マイクワーク① 楽曲発声チェック① 10. ストレッチ マイクワーク② 楽曲発声チェック② 11. ストレッチ マイクワーク③ 楽曲発声チェック③ 12. ストレッチ 読譜初歩① 楽曲発声チェック④ 13. ストレッチ 読譜初歩② 楽曲発声チェック⑤ 14. 後期まとめ 15. 後期末試験 								
評価方法	平常点 / 試験								
テキスト・参考書等	「ヴォイトレ本」谷口守著								
備考	授業はしっかり睡眠を取った状態でのぞむ事								

科目名	コント I								
担当教員	大山 敏								
講師紹介	構成作家／元ひょうきんディレクター荻野繁氏に師事。「ライオンのごきげんよう」・東京都主催「東京スポーツタウン2012-14」他多数の企画・構成・脚本担当。担当教員は講師作家として多くの番組を手がけている。この実務経験を活かし本講座の指導にあたる。								
開講年次	1年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期
到達目標	コントの基礎を学び、台本の制作、演者としての素養を磨く。コント台本の書き方、フリ、オチの笑いの情勢、コントに必要な演技の基礎を学ぶ。								
授業概要	コントとは何か？コントの構成要素であるシチュエーション、キャラクター設定、ストーリーの展開の作り方を学び台本が作れるようになること、そしてそれを演じる演者としての演技・リアクション・喋り方・間のとり方を実践形式で練習し学んでいきます。コントは単に芸人のネタとしてのコントだけではなく、テレビのバラエティ番組などでも垣間見れる「お約束」「ミニコント」と呼ばれるようなコントも学んでいきます。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内容のガイダンス 受講者自己紹介 2. 座学 コントとは何か？漫才とコントの違い、コントの作り方 3. コントの台本を作る 4. ショートコントを作る① 5. ショートコントを作る② 6. ショートコントを作る③ 7. ショートコントを作る④ 8. ショートコントを作る⑤ 9. ショートコントを作る⑥ 10. ショートコントを作る⑦ 11. ユニットコントを作る 台本作り 12. ユニットコントを作る ケイコ、ネタみせ① 13. ユニットコントを作る ケイコ、ネタみせ② 14. ユニットコントを作る ケイコ、ネタみせ③ 15. 前期ふりかえり 								
評価方法	平常点、ネタ作り・練習への取り組み・意欲を重視します								
テキスト・参考書等									
備考									

科目名	ヴォーカルレッスンⅠ								
担当教員	ヒルマ 弘								
講師紹介	ミュージシャン/「No!Galers」ボーカリスト。現在は「ザ・トロフィーズ」在籍。神谷浩史・木村佳乃・椎名へきる等歌詞提供、コーラスレコーディングを手掛ける。担当教員は数多くのボーカリストに楽曲を提供、並びに歌唱指導の実務経験を活かし本講座の指導にあたる。								
開講年次	1年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期
到達目標	基礎体力の向上、声量アップ。歌って踊れる身体を作る。								
授業概要	沢山の個性が認められる音楽の世界ですが、自分の持って生まれた個性をより強く引き出すために、基礎体力の強化や声量のアップは不可欠です。この授業では、ストレッチ→筋力トレーニング→有酸素運動→呼吸のトレーニング→ボイストレーニングと自然と声を出せる流れを作り、身体がどう動いて発声しているのかを感じながら持久力と声量アップを目指していきます。そして授業だけでなく、普段から身体を動かす癖をつけていきます。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内容のガイダンス、自己紹介など 2. 基礎トレーニング①深い呼吸を身につける 3. 基礎トレーニング②深い呼吸を身につける 4. 基礎トレーニング③深い呼吸を身につける 5. 基礎トレーニング①息のスピードと音程 6. 基礎トレーニング②息のスピードと音程 7. 基礎トレーニング③息のスピードと音程 8. 基礎トレーニング④息のスピードと音程 9. 基礎トレーニング⑤息のスピードと音程 10. 基礎トレーニング①強いボイシング 11. 基礎トレーニング②強いボイシング 12. 基礎トレーニング③強いボイシング 13. 基礎トレーニング④強いボイシング 14. 基礎トレーニング⑤強いボイシング 15. 基礎トレーニング まとめ 								
評価方法	平常点								
テキスト・参考書等	特になし。								
備考	動きやすい服装、もしくは着替えを持参すること。								

科目名	コントⅡ								
担当教員	大山 敏								
講師紹介	構成作家／元ひょうきんディレクター荻野繁氏に師事。「ライオンのごきげんよう」・東京都主催「東京スポーツタウン2012-14」他多数の企画・構成・脚本担当。担当教員は講師作家として多くの番組を手がけている。この実務経験を活かし本講座の指導にあたる。								
開講年次	1年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	後期
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・コントの基礎を学び、台本制作、舞台の使い方、演出、コントの芝居、演技を身に付ける ・コントを通じて笑いの基本、笑いが起きるメカニズムを理解する 								
授業概要	4～5名でグループを作り、合同コントを作り発表します。コント作りの中で台本制作、芝居、演技を身につけ、舞台の使い方、音響、照明を含めた舞台演出を学びます。コンビ以外の人とかかわることにより、他者の意見、考え方、演じる時の間を学びます。秋には学内イベントのカリメロライブでのコント披露、進級公演での合同コントの披露をしていきます。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 合同コントチーム振分け、台本作り 2. 合同コント 台本作り、ネタみせ 3. // 4. // 5. カリメロライブ ゲネプロ 6. 合同コントチーム振分け、台本作り 7. 合同コント 台本作り、ネタみせ 8. // 9. // 10. カリメロライブ ゲネプロ 11. 進級公演に向けて合同コントチームの振分け 12. 合同コント 台本作り、ネタみせ 13. // 14. // 15. 進級公演 ゲネプロ 								
評価方法	出席率 / 授業への積極性 / 学内ライブアンケート								
テキスト・参考書等	既存のショートコント台本 / オリジナルコント台本 / コントの動画 / 映画 / 学内ライブの動画								
備考	特になし								

科目名	ヴォーカルレッスンⅡ								
担当教員	ヒルマ 弘								
講師紹介	ミュージシャン/「No!Galers」ボーカリスト。現在は「ザ・トロフィーズ」在籍。神谷浩史・木村佳乃・椎名へきる等歌詞提供、コーラスレコーディングを手掛ける。担当教員は数多くのボーカリストに楽曲を提供、並びに歌唱指導の実務経験を活かし本講座の指導にあたる。								
開講年次	1年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	後期
到達目標	歌うための体力と共に深く強い呼吸を身に付け、滑舌やリズム感をより正確なものにする。								
授業概要	<p>沢山の個性が認められる音楽の世界ですが、自分の持って生まれた個性をより強く引き出すために、基礎体力の強化や声量のアップは不可欠です。この授業ではストレッチ→筋肉トレーニング→有酸素運動→呼吸トレーニング→ボイストレーニングと、自然と声を大きく、深い呼吸へ導ける流れを作り、身体がどう動いて、どのように声が出ているのかを感じながら、理解し、持久力と声量が向上していく感覚を身に付けていきます。授業だけでなく、普段から身体を動かす方法や習慣を教えていきます。</p>								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 基礎トレーニング、ボイストレーニング① 2. 基礎トレーニング、ボイストレーニング② 3. 基礎トレーニング、ボイストレーニング③ 4. イベント(ねこぱんち) 5. 基礎トレーニング、ボイストレーニング④ 6. 基礎トレーニング、ボイストレーニング⑤ 7. 基礎トレーニング、ボイストレーニング⑥ 8. 基礎トレーニング、ボイストレーニング⑦ 9. イベント(ねこぱんち) 10. 基礎トレーニング、ボイストレーニング⑧ 11. イベント(ねこぱんち) 12. 基礎トレーニング、ボイストレーニング⑨ 13. レコーディング予備日 14. レコーディング予備日 15. レコーディング予備日 								
評価方法	平常点/ その他(ねこぱんち、進級公演の成果は重視します。)								
テキスト・参考書等									
備考	動きやすい服装、又は着替えを持参すること。								

科目名	ネット動画制作 I								
担当教員	鷹澤 洋介								
講師紹介	東京アナウンス学院教員。文教大学文学部卒業後、同大学にて2年間の助手を経て、本学に就任。主に進路・就職指導を担当。その後東放学園キャリアサポートセンターにてエンターテインメント業界と学生を結ぶ窓口として活躍、現在に至る。								
開講年次	1年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	後期
到達目標	フォロワーや登録者をつめるために、SNSでの動画の効果学ぶ。配信を実際により、フォロワー数の重要性や、ネタ動画を作る上での構成、テロップなどの効果を知る。流行の移り変わりの激しいSNSで、様々なアプリを使って配信してみる。								
授業概要	TwitterやYouTubeなどSNSに掲載できる動画を作る。学内ライブの告知動画や面白動画などの基本的な作り方をスマートフォンアプリで制作をする。LIVE配信アプリを使っての生配信も経験させる。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス / SNSでの動画の効果について知る 2. スマートフォンのアプリによる動画の編集基礎。 3. 学内ライブのTwitter告知動画を作る。 4. スマートフォンアプリでLIVE配信を体験する① 5. スマートフォンアプリでLIVE配信を体験する① 6. YouTube用面白動画の制作① / ネタを考える。 7. YouTube用面白動画の制作② / 撮影をする。 8. YouTube用面白動画の制作③ / 編集する。 9. Vtuberの世界を知る。Vtuberの動画をアプリを使って制作。 10. 進級発表の学内ライブのTwitter告知動画を作る。 								
評価方法	授業への積極的な参加 / 出席率 / 原則として動画作品課題提出をすること								
テキスト・参考書等	動画の効果についてのプリント / スマートフォン、ipad、Mac / TVモニター								
備考	不定期開催。課題提出が必須。								

科目名	発声・滑舌								
担当教員	押田 浩幸								
講師紹介	俳優・声優／アーツビジョン・劇団あかぺら倶楽部所属。アニメ「霸王体系リューナイト」他。舞台「パパ・アイ・ラブ・ユー(デーヴィット・モーティマー)」他多数出演。担当教員は数多くの舞台・TV出演の経験があり、俳優としての実務経験に基づいて授業を実施する。								
開講年次	1年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期
到達目標	腹式呼吸を身につけ、標準語を覚えて貰う								
授業概要	腹式呼吸を身につけて貰い、音量を増やして声を前に出せるように筋力トレーニングで筋力アップして貰います。一音一音滑舌を意識して声が出せるように、口径や舌の位置等を確認しながら標準語で会話が出来るようになって貰います。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内容のガイダンス 自己紹介 2. 筋トレ、発声、口径について 3. 筋トレ、発声、標準語について 4. 筋トレ、発声、アクセントについて 5. 筋トレ、発声、アクセントについて② 6. 筋トレ、発声、アクセントについて③ 7. 筋トレ、発声、五十音について 8. 筋トレ、発声、あめんぼうの歌を使って 9. 筋トレ、発声、あめんぼうの歌を使って② 10. 筋トレ、発声、外郎売について 11. 筋トレ、発声、外郎売を覚える 12. 筋トレ、発声、外郎売を覚える② 13. 筋トレ、発声、外郎売を覚える③ 14. 筋トレ、発声、外郎売を覚える④ 15. まとめ 								
評価方法	平常点/授業の理解								
テキスト・参考書等	教本、あめんぼうの歌、外郎売、他								
備考									

科目名	演技・表現								
担当教員	永田 耕一								
講師紹介	俳優／文学座研究所卒。劇団青俳を経て、劇団スーパーエッセントリックシアターの旗揚げに参加。舞台やテレビドラマ、ラジオ、CM等に多数出演している。担当教員は数多くの舞台・TV出演の経験があり、俳優としての実務経験に基づいて授業を実施する。								
開講年次	1年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	後期
到達目標	笑いを意識しない。まじめに芝居に取り組んでもらい表現力をつけていく。								
授業概要	芝居はどの分野でも必要になります。笑い、歌手の分野でも一緒です。そこをわかってもらえるようになって、身体の動かし方、大きな声の出し方もできるようにしていきます。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自己紹介(喜怒哀楽を使って) 2. 台詞なしで喜びを表現する 3. 台詞なしで悲しみを表現する 4. 台詞なしで怒りを表現する 5. 台詞を使って喜びを表現する 6. 台詞を使って悲しみを表現する 7. 台詞を使って怒りを表現する 8. 愛のエチュードを創る 9. 殺人犯から追われる人を表現 10. 「待ち合わせ」本読み 11. 「待ち合わせ」前半立ち稽古 12. 「待ち合わせ」後半立ち稽古 13. 「待ち合わせ」通し稽古 14. 教室内発表 15. 反省会 								
評価方法	平常点、授業の理解、成果発表、毎回の授業態度を重要視します。								
テキスト・参考書等	演技教本は、台詞や台本は、必要に応じて配布。								
備考	動きやすい服装を準備してください。								

科目名	キャラヴォイス I								
担当教員	押田 浩幸								
講師紹介	俳優・声優／アーツビジョン・劇団あかぺら倶楽部所属。アニメ「霸王体系リューナイト」他。舞台「パパ・アイ・ラブ・ユー(デーヴィット・モーティマー)」他多数出演。担当教員は数多くの舞台・TV出演の経験があり、俳優としての実務経験に基づいて授業を実施する。								
開講年次	2年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	後期
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・マイク前での演技の基礎を身につける ・声の演技を身につけることによって、ネタや歌に応用を利かせるようになる 								
授業概要	発声滑舌の授業内容も取り入れ声だけで魅せる演技の基礎を学びます。タレントは声優やナレーションの仕事やオーディションのチャンスに恵まれることもあり、求められることに対応できるよう準備が必要です。授業ではキャラクターの声の役作りを中心にオリジナルのラジオドラマ台本を使って収録し、声だけの演技表現を身につけます。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス、自己紹介 2. 演技について考える 3. 台本を使用して、実際の動き(演技)を行ってみる 4. 気持ちの流れを考えてみる 5. キャラクターを意識しながら、演技する 6. マイクの使い方(声の出し方) 7. マイク前での演技1 8. マイク前での演技2 9. マイク前での演技3 10. 収録(テスト) 11. 先週の収録の振り返り、駄目だし 12. 収録(テスト) 13. 先週の収録の振り返り、駄目だし、修正 14. 収録(本番) 15. 反省会 								
評価方法	平常点/授業の理解/テスト(収録)								
テキスト・参考書等	台本 / スタンドマイク数本								
備考									

科目名	ネタ構成								
担当教員	柏田 眞志								
講師紹介	浅井企画所属放送作家。現在は「キングオブコント」「欽ちゃん香取慎吾の全日本仮装大賞」「ダウンタウンごっつうええ感じ」等多数。他にも音楽番組等手掛ける。担当教員は放送作家として多くの番組を手がけている。この実務経験を活かし本講座の指導にあたる。								
開講年次	1年次	必/選	選択	授業形態	講義	時間数	36時間	開講時期	前期
到達目標	漫才、コント、ピンなどのネタ(台本等)作成のため、実践、思考力、想像力を養いコミュニケーション、歴史、日本語、社会事情を交えて、各個人のエンタメ力を向上させ、誰もが考えられる思考力を身につけてもらいます。								
授業概要	エンターテイメントに必要なネタや演技力、動き、など様々なタレントを育成します。 また、授業では、生徒のリクエストにも応えながら、現場に役立つプログラムを用意し、個人に合わせたカリキュラムを行います。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 笑いの基礎訓練 2. 発想力① 3. ①ネタ作り(ピン) 4. ②ネタ作り(漫才) 5. ③ネタ作り(コント) 6. ④質問力 7. 発想力② 8. 笑いの世界史 9. コミュニケーション力 10. 思考訓練(能力アップ・脳トレ) 11. 笑いの日本史 12. タレント力 13. リアクション力 14. トレーニング ネタ実践 15. ネタ披露 								
評価方法	平常点(主体的な習得意欲、出席含む)								
テキスト・参考書等	必要に応じて配布								
備考	生徒の皆さんの理解力を考慮して、内容を変更する場合があります。								

科目名	レコーディング基礎 I								
担当教員	ヒルマ 弘								
講師紹介	ミュージシャン/「No!Galers」ボーカリスト。現在は「ザ・トロフィーズ」在籍。神谷浩史・木村佳乃・椎名へきる等歌詞提供、コーラスレコーディングを手掛ける。担当教員は数多くのボーカリストに楽曲を提供、並びに歌唱指導の実務経験を活かし本講座の指導にあたる。								
開講年次	1年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期
到達目標	オリジナル楽曲の制作を通して、誰の真似でもない自分の歌を見つける。また、繰り返し歌い聞く事によって、より良い作品に仕上げていく。								
授業概要	デジタル技術の進化によりレコーディング作業はより身近なものになってきました。以前は高価だったこの作業も今やパソコン1台あれば、グレードの幅こそあれ出来てしまいます。この授業では、毎月行われる学内イベント「ねこぱんち」、年度末の「進級公演」の課題曲を通して、オリジナル曲の作词、歌割り、ハーモニー作り、レコーディングスタジオの作業の仕方、機材の操作を学びます。また作ったオリジナル楽曲は録音して、編集、トラックダウンと実際にプロの現場で行われている過程を経験していきます。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内容のガイダンス、自己紹介など 2. 楽曲選択、キー合せ1曲目 3. 歌詞制作 4. 歌詞制作② 5. イベントで発表へ向けてのリハーサル 6. イベントで発表へ向けてのリハーサル② 7. イベントで発表へ向けてのリハーサル③ 8. 楽曲選択、キー合せ2曲目 9. 歌詞制作 10. 歌詞制作② 11. イベントで発表へ向けてのリハーサル 12. イベントで発表へ向けてのリハーサル② 13. イベントで発表へ向けてのリハーサル③ 14. レコーディング 15. レコーディング② 								
評価方法	平常点/その他(イベントでの成果)								
テキスト・参考書等	オリジナル楽曲をDLで配布します。								
備考									

科目名	キャラクター								
担当教員	柏田 眞志								
講師紹介	浅井企画所属放送作家。現在は「キングオブコント」「欽ちゃん香取慎吾の全日本仮装大賞」「ダウンタウンごっつうええ感じ」等多数。他にも音楽番組等手掛ける。担当教員は放送作家として多くの番組を手がけている。この実務経験を活かし本講座の指導にあたる。								
開講年次	1年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	後期
到達目標	タレント力に必要な個性、自己表現力、を身につけて自己プロデュースができるようになることを目指します。								
授業概要	タレント力に必要な個性、表現力、自分のキャラクターとは？を生徒が気づき社会人としても対応できる授業を行います。 また、コミュニケーション力を向上させるためのパーソナルレッスンも交えて授業を展開していきます。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 個人力を伸ばすパーソナルレッスン 2. キャラクターの発見法 3. 特技を身につける 4. 会話の対応力① 5. キャラクターの歴史 6. 自分の歴史 7. 会話の対応力② 8. コメント力の向上 9. 質問力 10. 本当の自分って何？ 11. 優しさのトーク力 12. カメラテスト 13. 新しいキャラクターの発見 14. セリフテスト、アドリブテスト 15. 最終実技審査 								
評価方法	平常点(主体的な習得意欲、出席含む)								
テキスト・参考書等	必要に応じて配布します								
備考	生徒の皆さんの理解力に合わせて、内容を変更する場合があります。								

科目名	レコーディング基礎Ⅱ								
担当教員	ヒルマ 弘								
講師紹介	ミュージシャン/「No!Galers」ボーカリスト。現在は「ザ・トロフィーズ」在籍。神谷浩史・木村佳乃・椎名へきる等歌詞提供、コーラスレコーディングを手掛ける。担当教員は数多くのボーカリストに楽曲を提供、並びに歌唱指導の実務経験を活かし本講座の指導にあたる。								
開講年次	1年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	後期
到達目標	オリジナル楽曲の制作を通して、自分だけの個性を見つけ出し繰り返し歌い、聞く事によって、作品のブラッシュアップに努め、レコーディングスタジオの用語、機材の使い方を身に付ける。								
授業概要	デジタル技術の進化によりレコーディング作業は身近なものになって来ました。以前は高価だったこの作業も今やパソコン1台あればグレードの幅こそ形になります。この授業では、毎月行われる学内イベント「ねこぱんち」、年度末の「進級公演」の課題曲を通して、オリジナル楽曲の作詞、歌割り、ハーモニー作り、レコーディングスタジオでの作業の流れ、機材の操作を身に付けます。また作ったオリジナル楽曲は録音して、編集、トラックダウンと、プロの現場で行われる過程を経験していきます。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 夏休み前に配布した新曲の歌詞、歌割り、ハーモニーを制作して仕上げる① 2. 夏休み前に配布した新曲の歌詞、歌割り、ハーモニーを制作して仕上げる② 3. 夏休み前に配布した新曲の歌詞、歌割り、ハーモニーを制作して仕上げる③ 4. 夏休み前に配布した新曲の歌詞、歌割り、ハーモニーを制作して仕上げる④ 5. イベントに向けてのリハーサル① 6. イベントに向けてのリハーサル② 7. イベントに向けてのリハーサル③ 8. イベントに向けてのリハーサル④ 9. 進級公演で配布するオリジナルCDのレコーディング① 10. 進級公演で配布するオリジナルCDのレコーディング② 11. 進級公演で配布するオリジナルCDのレコーディング③ 12. 進級公演で配布するオリジナルCDのレコーディング④ 13. 進級公演で配布するオリジナルCDのレコーディング⑤ 14. 進級公演のリハーサル① 15. 進級公演のリハーサル② 								
評価方法	平常点 / その他(ねこぱんち、進級公演の成果は重視します)								
テキスト・参考書等									
備考									

科目名	タレント心得講座 I								
担当教員	太平 真平								
講師紹介	カタリスト／吉本興業より松竹芸能へ、漫才コンビ「BANGBANG」3年連続NHK漫才コンテストに出場。64年サンミュージックでタレント。(株)ビス・ブレインズ代表。担当教員は芸能業界において造詣が深く数多くの実績を持つ。この経験を活かし本講座の指導にあたる。								
開講年次	1年次	必/選	選択	授業形態	講義	時間数	36時間	開講時期	通年
到達目標	タレントとしての基礎である礼儀作法を身につける。プレイヤー(芸人、タレント)になるための心構えを知る。芸能に関する基礎的な知識を習得する。								
授業概要	1年生に関しては、エンターテインメントとは何か？そしてタレント及び芸人とは何か？をしっかりと理解してもらい、将来の目標や目的を1人ひとりがしっかりと考え見つけてもらえるよう指導及びアドバイスをしていきたいと思っております。また、プレイヤーとしての心構えを身につけること以上に、ステージに立つまでの準備やそこに至るまでのスタッフや関係者の人達に対しての配慮や感謝する心や気持ちを持てる様に指導していきたいと思っております。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 講師自己紹介。授業の進め方について 2. 生徒に対するインタビュー 3. 生理学において(心理ゲーム)での適性を見る 4. バラエティ、芸能界におけるルールについて 5. 芸人及びタレントとしての礼儀作法について 6. テレビをはじめとしたメディアの成り立ち・ルールについて 7. 将来の目標や目的の設定のしかたについて 8. 前期の総括及び夏休みの過ごし方について 9. 夏休みの課題の発表 10. ネタ及び自己アピールの作り方 11. ネタ及び自己アピール時の原稿作成について 12. バラエティ及び芸人の役わりについて 13. 自己プロデュースのやり方について 14. ネタ及び自己アピール発表① 15. ネタ及び自己アピール発表②、1年間を通しての振り返りとまとめ 								
評価方法	平常点、授業の理解度、成果発表、授業への参加意欲と態度								
テキスト・参考書等	必要に応じて用意します。								
備考	筆記用具、原稿用紙の持参。遅刻及び欠席の連絡。								

科目名	プロデューサーゼミ I								
担当教員	久保 コーじ								
講師紹介	音楽プロデューサー、作曲家、編曲家／TM Network、安室奈美恵、鈴木あみ、hitomi、篠原涼子、観月ありさ、globe、浜崎あゆみ、渡辺美里等多数。担当教員は数多くのボーカリストに楽曲を提供、並びに歌唱指導の実務経験を活かし本講座の指導にあたる。								
開講年次	1年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	後期
到達目標	レコーディング作業の中で目標の歌を歌えるようになる。 レコーディングやライブなど、どのような環境でも実力を発揮出来るようになる。 楽曲に応じた適切な歌唱が出来るようになる。								
授業概要	歌が上手くなる近道は、レコーディングスタジオでの録音作業の中にあります。最高品質のレコーディングスタジオで、プロ用録音機材を使ってのボーカル録音が上達の秘訣なのです。レコーディングを通じて、ありとあらゆる角度から自分の歌を見つめ直し、追求心と向上心を高め、頂点を目指していきます。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. 個別歌唱指導1 3. 個別歌唱指導2 4. 個別歌唱指導3 5. 個別歌唱指導4 6. 個別歌唱指導5 7. 個別歌唱指導6 8. 個別歌唱指導7 9. 個別歌唱指導8 10. 個別歌唱指導9 11. 個別歌唱指導10 12. 個別歌唱指導11 13. 個別歌唱指導12 14. 個別歌唱指導13 15. まとめ 								
評価方法	平常点/ その他(欠席数を減点方式)								
テキスト・参考書等	課題曲を決め通信カラオケで歌う								
備考	歌う曲の歌詞カードを各自用意してください。手書きで歌詞を書くと、歌詞の持つ意味や情景などの理解が深まり、								

科目名	学園行事Ⅰ								
担当教員	船場 吉行(他、教員が担当)								
講師紹介	1993年東京アナウンス学院就任。東放学園高等専修学校を経て、東京アナウンス学院放送声優科を担当、進路指導に携わる。現在は学科を離れ経験を活かした授業等を担当の他、マネジメント業務に従事する。								
開講年次	1年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	72時間	開講時期	通年
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・学園行事を通じて様々なイベントを体験することで協調性とコミュニケーション能力が高まる ・一定のルールの下で行動することで、自身がクラスやグループの一員であることを自覚する。 								
授業概要	<p>学生が2年間で体験する学園生活の中で、起点となるイベントは卒業後振り返ってみても実に思い出深いものになることが多い。本校の学園行事は日頃の専門教育から離れて学科間を越え、時には学校間を越えて、ひとつのことを共に経験する過程で得る、貴重な体験を積んでほしい。通り一遍の参加ではなく、積極的な取り組みを願う。</p>								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. クラス合宿① 2. クラス合宿② 3. 東放学園合同運動会 4. スポーツ大会 5. 学園祭① 6. 学園祭② 								
評価方法	イベント毎に参加した際の平常点を総合して判断								
テキスト・参考書等	特になし								
備考	現地集合のイベントの場合は交通事情をよく調べてから行動を起こすこと								

科目名	芸術鑑賞Ⅰ								
担当教員	船場 吉行他(クラスアドバイザー、教員)								
講師紹介	1993年東京アナウンス学院就任。東放学園高等専修学校を経て、東京アナウンス学院放送声優科を担当、進路指導に携わる。現在は学科を離れ経験を活かした授業等を担当の他、マネジメント業務に従事する。								
開講年次	1年次	必/選	必修	授業形態	講義	時間数	36時間	開講時期	通年
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・エンターテインメントの華やかなパフォーマンスに刺激を受け授業の糧にする。 ・実際の舞台上で演じる役者のセリフや動き見て、授業等の課題について考えることができる。 ・進路先選びの参考になる 								
授業概要	<p>専門分野の知識・見識を高めるためにプロのパフォーマンスを鑑賞することは重要なことである。芸術鑑賞は該当する学科が学年に応じてテーマを持ち、将来進むエンターテインメント業界の仕事を垣間見る機会をつくる。世間の誰もが知る劇団や評判の高いプロデュース公演、大小様々劇場や美術、場内アナウンスに至るまですべてを吸収して刺激を受けよう。</p>								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 鑑賞作品(1)タイトル未定／作品については劇団、主催等が提案する年次の公演一覧から担当者目的に応じて、作品のテーマ・演出家・出演者等から選ぶ 2. 鑑賞作品(2)タイトル未定／上記に同じ 3. 鑑賞作品(3)タイトル未定／上記に同じ 4. 鑑賞作品(4)タイトル未定／上記に同じ 								
評価方法	参加当日の平常点と鑑賞後のレポートを重視								
テキスト・参考書等	レポート用紙(個人で用意)								
備考	観劇中のマナーは要注意								

科目名	アクターズレッスン(一川)								
担当教員	一川 靖司								
講師紹介	木山事務所所属、Pカンパニー創立メンバー。別役実、岸田國士、シェイクスピア等多数の舞台に出演。ニューヨークをはじめ海外公演にも参加。担当教員は数多くの舞台・TV出演の経験があり、俳優としての実務経験に基づいて授業を実施する。								
開講年次	1年次/2年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期/後期
到達目標	セリフをどのように感情を乗せていくかを理解し、動きに結びつけた表現力を体得する。相手の状況に応じたアクションを学び、次のセリフにつなげる体験をすることで表現のバリエーションを増やす。								
授業概要	演技において大切なことは「伝えること」と「交流すること」です。授業ではセリフのあるエチュードで感情とそれに伴う動きをどう伝えるかを実践し、受け手としてのリアクションを表現として成り立つような実習を行います。後半では相手役を増やし複雑な状況での表現を戯曲の一場面を使い、発表という形の経験をしてもらいます。同じ状況下でも表現方法はひとつだけではありません。共演者と柔軟に交流し、表現のバリエーションを増やすための準備の方法を取り組んでいきます。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業ガイダンス 言葉を使ったゲーム 2. 感情の伝達と交流① セリフ有りひとりエチュード 3. 複雑な状況での交流①複数での戯曲の場面を演じる 4. 複雑な状況での交流②複数での戯曲の場面を演じる 5. 複雑な状況での交流③複数での戯曲の場面を演じる 6. 相手との掛け合いと柔軟性②二人で演じるエチュード 7. 相手との掛け合いと柔軟性③二人で演じるエチュード 8. 相手との掛け合いと柔軟性④二人で演じるエチュード 9. 感情の伝達と交流② セリフ有りひとりエチュード 10. 感情の伝達と交流③ セリフ有りひとりエチュード 11. 相手との掛け合いと柔軟性①二人で演じるエチュード 12. 複雑な状況での交流④複数での戯曲の場面を演じる 13. 複雑な状況での交流⑤複数での戯曲の場面を演じる 14. これまでの成果発表 15. 授業のまとめ 								
評価方法	毎回の授業内の成果								
テキスト・参考書等	セリフ・台本のプリントは必要に応じて配布								
備考	床に寝転ぶことも可能な動きやすい服装で。与えられる課題は相手役と協力して成果が得られるものなので、休むことなく出席し続けてください。								

科目名	アクターズレッスン(今泉)								
担当教員	今泉 厚								
講師紹介	俳優／円研究所出身。歌舞伎座等の古典からマジックカンパニーでの全国巡業、海外公演、ミュージカル、映像作品等多岐にわたり出演。担当教員は数多くの舞台・TV出演の経験があり、俳優としての実務経験に基づいて授業を実施する。								
開講年次	1年次/2年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	後期
到達目標	様々な表現オーダーへの対応力を身につける。学年や演技的キャリアを越えたコミュニケーションスキルが向上する。								
授業概要	俳優や声優には作品や配役に応じた表現力が求められます。更には、キャスティングされる為には、オーディション等のハードルを越えなければならない場合も多々あります。授業では演技的要求に応えられるように、エチュードやインプロ、短編ドラマ等、多角的なショートプログラムによる訓練を行います。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業がイタズと質疑応答、自己紹介(PR) 2. a.身体と声のウォーミングアップ(前回) b.コミュニケーションのシアターゲーム① 3. a.身体と声のウォーミングアップ(回数によりバージョンUP) b.エチュード①(ソロ) 4. a.身体と声のウォーミングアップ b.感情解放 c.セリフ集中暗記術 5. a.身体と声のウォーミングアップ b.観察とコミュニケーションのエチュード② 6. a.身体と声のウォーミングアップ b.セリフ①(独り~2人) 7. a.身体と声のウォーミングアップ(バージョンUP) b.映画鑑賞 8. a.身体と声のウォーミングアップ b.シアターゲーム② 9. a.身体と声のウォーミングアップ b.セリフ②(アンサンブル)距離感 10. a.身体と声のウォーミングアップ b.セリフ②(アンサンブル)ベクトル、アクセント 11. a.身体と声のウォーミングアップ(バージョンUP) b.セリフ②(アンサンブル)グループ発表 12. a.身体と声のウォーミングアップ b.セリフ③(ショートシーン/読み合わせ) c.シナリオ創作 13. a.身体と声のウォーミングアップ b.セリフ③(ショートシーン/空間取り) c.シナリオ創作 14. a.身体と声のウォーミングアップ b.セリフ③(ショートシーン/空間取り)グループ発表、c.シナリオ創作(完成まで) 15. a.身体と声のウォーミングアップ b.上記cの創作シナリオ発表 c.授業まとめ、感想と成果 								
評価方法	授業の出席率/取り組む姿勢や授業態度/達成度や実技発表								
テキスト・参考書等	課題プリントやセリフプリント等は必要に応じて配布します								
備考	動きやすい服装で参加して下さい。筆記用具も持参してください。その他、事前に指示する場合があります。								

科目名	アクターズレッスン(押田)								
担当教員	押田 浩幸								
講師紹介	俳優・声優／アーツビジョン・劇団あかぺら倶楽部所属。アニメ「霸王体系リューナイト」他。舞台「パパ・アイ・ラブ・ユー(デーヴィット・モーティマー)」他多数出演。担当教員は数多くの舞台・TV出演の経験があり、俳優としての実務経験に基づいて授業を実施する。								
開講年次	1年次/2年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	後期
到達目標	俳優として表現の基礎訓練。表現の限界をぶちこわせる役者になる。								
授業概要	エチュードを使用して皆の前で演じて貰います。台本の読み方や、感情表現を重点に戯曲の抜粋等を使い進めていきたいと思えます。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. ガイダンス・自己紹介 3. 台本の読み方について 4. 台本の読み合わせ 5. 実際に動いてみる 6. 立ち稽古 7. 発表 8. 次の台本の読み合わせ 9. 読み合わせ 10. 動きの確認 11. 立ち稽古 12. 部分稽古 13. 通し稽古 14. 通し稽古 15. 発表 								
評価方法	平常点(主体的な習得意欲、出席含む)/ 授業の理解								
テキスト・参考書等	台本は必要に応じて配布								
備考	動きやすい服装で来ること。								

科目名	アクターズレッスン(江上)								
担当教員	江上 真悟								
講師紹介	俳優／文学座附属演劇研究所を経て、映画「鍵」でデビュー。「SP」「相棒」他多数のドラマに出演。美輪明宏演出・主演作品の舞台にも定期的に出演している。現代書道家。担当教員は数多くの舞台・TV出演の経験があり、俳優としての実務経験に基づいて授業を実施する。								
開講年次	1年次/2年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期
到達目標	基礎訓練の目的とその練習方法を取得。表現力(台詞・身体・感情)の向上。								
授業概要	前半では表現者にとって必要な基礎訓練(声と身体)の目的意識を強く持ってもらい、中盤では芝居の基本である二人芝居のエチュードを実施し演技の交流を体感させ、後半は発表向けグループによる脚本で作品創りを経験してもらいます。授業外での自主稽古も各自積極的に取り組んで下さい。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自己紹介、授業内容の指針 2. 身体トレーニングの目的と練習方法、発声の目的とその練習方法① 3. 発声②、調音練習① 4. 調音練習② 5. 台詞と感情のキャッチボール①(二人一組の短編脚本) 6. 台詞と感情のキャッチボール②(二人一組の短編脚本) 7. 台詞と感情のキャッチボール③(二人一組の短編脚本) 8. 台詞と感情のキャッチボール④(二人一組の短編脚本) 9. 台詞と感情のキャッチボール⑤(二人一組の短編脚本) 10. 表現力と創造性の向上①(グループによる脚本) 11. 表現力と創造性の向上②(グループによる脚本) 12. 表現力と創造性の向上③(グループによる脚本) 13. 表現力と創造性の向上④(グループによる脚本) 14. 表現力と創造性の向上⑤(グループによる脚本) 15. 教室発表、まとめ 								
評価方法	授業への姿勢と出席率								
テキスト・参考書等	使用脚本配布								
備考	動きやすい服装とレッスン用シューズを持参、及びノートと筆記用具も用意すること。								

科目名	アクターズレッスン(永田)								
担当教員	永田 耕一								
講師紹介	俳優／文学座研究所卒。劇団青俳を経て、劇団スーパーエッセントリックシアターの旗揚げに参加。舞台やテレビドラマ、ラジオ、CM等に多数出演している。担当教員は数多くの舞台・TV出演の経験があり、俳優としての実務経験に基づいて授業を実施する。								
開講年次	1年次/2年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期/後期
到達目標	演技力の向上。作品の解釈を理解出来る。								
授業概要	作品の事を、とにかく考えて色々な方向から稽古をしてもらい、早く演出家の考えを見抜く力を持ってもらいます。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業ガイダンス 2. 5人一組で15分の芝居を創る 3. 喜怒哀楽を即興で演じる 4. 怒りの台詞 5. 悲しみの台詞 喜びの台詞 6. 一人芝居の本読み 7. 長い台詞のアプローチの仕方 8. " 一本調子にならない読み方 9. " 感情の入れ方 10. 一人芝居の通し 11. 待ち合わせ 本読み 12. 待ち合わせ 前半立ち稽古 13. 待ち合わせ 後半立ち稽古 14. 待ち合わせ 通し稽古 15. 教室内発表 								
評価方法	台詞の上手さ/発声・アーティキュレーション/身体の動き								
テキスト・参考書等	台詞・台本は必要に応じて配布します。								
備考	動きやすい服装。台詞はすぐに覚える！								

科目名	アクターズレッスン(林)								
担当教員	林 英樹								
講師紹介	演出家・劇作家・俳優／「身体と表現」「劇作り」をテーマに演劇ワークショップを多数実施。日本演出者協会、国際演劇協会にて人材育成や国際交流プログラムを担当。担当教員は演出家として様々な舞台公演を手掛けた実務経験を活かして指導に当たる。								
開講年次	1年次/2年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期/後期
到達目標	想像する能力を高める。構成する力を身につける。表現能力を育成する。								
授業概要	演劇は英語でプレイと言います。本授業では、人が本来持っている遊戯的な感覚を育み、豊かにし、そのことと演ずることをつないでいくための手法、エクササイズを活用しながら応用し、エチュードと話し合いを重ねて、役や場면을創造しながらの作品作りを体験してみます。また授業内で短い場面、作品(短編演劇)を創作発表し、意見交換を積極的に行います。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業ガイダンス、自己紹介 2. 即興エクササイズの実施 3. 即興エクササイズからショートシーンへ 4. エチュードからショートシーンへ 5. 三～四人のチームに分かれ、エチュードで短い場面を作る 6. エチュードとチームの話し合いを重ねて短い場면을構成してみる 7. エチュードを元に創作する① 互いに他の発表を見て意見交換する 8. 新たなチームを作り、エチュード開始 9. チームでの話し合いとエチュードを重ねて作品作りを進める 10. エチュードを元に創作する② 互いに他の発表を見て意見交換する 11. 創作案の提案をする 創作案からエチュードを始める 12. 短い劇(短編演劇)の創作の試み① 13. 短い劇(短編演劇)の創作の試み② 14. 創作の発表と意見交換 15. 授業の振り返り 								
評価方法	授業の出席率/課題取り組みへの姿勢/事前事後学習の成果/実技発表								
テキスト・参考書等	セリフや台本は必要に応じて配布								
備考	動きやすい服装、もしくは着替えを持参すること。								

科目名	アクターズレッスン(安田)								
担当教員	安田 夏望								
講師紹介	俳優・演出家／日本演出家協力員。企画制作春夏秋冬代表。ワークショップ「アクティング・セッション」「声を創る教室」を主宰。「曾根崎心中」「招かざる客」等多数出演。担当教員は舞台活動を中心とした実務経験に基づいて担当授業を実施する。								
開講年次	1年次/2年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期/後期
到達目標	すてきなアクター、アクトレスは演技の楽しさを知っている人です。素直に演技を自分の中にとり入れて、自分の魅力を見つけましょう。								
授業概要	ひとつひとつ基礎をつみかさねながら、その表現をみつけていきます。声も、体も、心も自由になれるよう、自分自身の硬さや柔らかさをうけとめ表現していきます。ストレッチはもちろん、基本的な声の可能性をひろげ、エチュードを通して心の柔軟性を身につけ、毎回の時間、あたらしい自分を発見していきましょう。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業説明、自己紹介、ストレッチ、発声 2. 自分の声、自分の体を知る 3. ストレッチとブレス、ブレスと声量 4. 大きな声とはっきりした声 5. 歩きとブレス、歩きと声 6. エチュード すれちがう 7. エチュード 声をかける 8. 感情表現と声と体 9. 感情(喜怒哀楽)と声と体 10. 感性について 五感 11. 見る、聞く 12. 五感と感情をつくる 13. 心がうごくことを待つ 14. 相手のセリフを聞く 15. セリフのやりとり、からみ 								
評価方法	意欲/出席/可能性/成長								
テキスト・参考書等	テキスト有/随時必要なものを配布								
備考	動きやすい服装、すべらないうわばき。								

科目名	落語								
担当教員	三遊亭 丈二								
講師紹介	平成2年、三遊亭円丈に入門。前座名、三遊亭小田原丈。平成6年、二ツ目昇進、その後、上方落語の勉強のため一年半京都在住。平成17年秋、真打昇進、丈二となる。。担当教員は落語家として数多くの高座を務める。この実務経験を活かして本高座を担当する。								
開講年次	1年次/2年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期/後期
到達目標	実際に一席の落語を演じられるようになる。まくらを通して人前で話す力の向上。								
授業概要	まくらで人前で話す事に慣れ、喋りで他人に伝える力を養って貰います。又、トークテーマを探す事で、日々見過ごしていたものにも目を向ける感性を磨いてほしいです。短い噺ですが、落語を一席お教えします。演じる時までには覚えてきてください。落語は座ったまま、道具も使わず一人何役も演じます。この落語的手法をマスターすれば他のジャンルでも役立つでしょう。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業ガイダンス 2. 自己紹介、落語 3. まくら(フリートーク) 落語の歴史 4. まくら 落語の種類 5. まくら 課題の噺を仕込む 6. まくら 上下について 7. まくら 所作について 8. まくら 描写について 9. まくら 小噺 10. まくら 大喜利 11. まくら 落語を演じる、大喜利 12. まくら 落語を演じる、大喜利 13. まくら 落語を演じる、大喜利 14. まくら 落語を演じる、大喜利 15. 落語を演じる 								
評価方法	演じた落語の成果/まくらによるトーク力の成果/出席率								
テキスト・参考書等	特にありません。扇子を使いますが、こちらでお貸し致します。								
備考	着物を着る必要はありませんのでご安心ください。課題の噺を仕込む時は、何か録音できる物を持参下さい。								

科目名	講談
担当教員	神田 紫
講師紹介	講談師／二代目神田山陽に入門。平成元年真打昇進。日本講談協会元会長。朝日新聞カルチャースクール講師。環境講談「もったいない善兵衛」創作。担当教員は講談師として数多くの高座を務める。この実務経験を活かして本高座を担当する。
開講年次	1年次/2年次 必/選 選択 授業形態 実習 時間数 36時間 開講時期 前期/後期
到達目標	今までに経験したことのない「話芸」の術を身につける。ひとり語りの技術を身につけ、「講談」を“特技”として仕上げる。
授業概要	「講談」は、それ以外の語りや会話、セリフ術では使わない高い音と低い音を使い、「間」(ま)を大事にします。講談独特の講談調子(イントネーション)、リズム、緩急、間(ま)を学びます。「講談」という物語の語り方を学ぶ中で、上記の技術を繰り返し実践し、身につけて行きますが、それは、教材の「講談」を暗記して語れるようになって初めて身につくもので、暗記する努力が必要です。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「講談」について説明、自己紹介、実演 2. 語りに使う「張り扇」の使い方、基礎訓練 3. ①教材の意味、音の高低とイントネーション 4. ①教材のリズム、間の取り方 5. ①教材の音の高低、イントネーション、リズム、間の訓練 6. ①教材の音の高低、イントネーション、リズム、間の訓練、全体で仕上げる 7. ①教材の実技訓練、総まとめ 8. ②教材の意味、音の高低、イントネーション 9. ②教材のリズム、間、セリフの語り方 10. ②教材のリズム、間、イントネーション、語り手の部分とセリフの部分の語りの訓練 11. ②教材の高低、イントネーション、リズム、張り扇の①と別の叩き方の訓練 12. ②教材の読み方の訓練、登場人物が戦う場面の演技訓練 13. ②教材の中で、特別なリズム、イントネーション、張り扇の叩き方をする場面の訓練 14. ②教材の中の登場人物が弓を射る場面の演技訓練、総まとめ 15. ①または②の教材を選んで実技試験
評価方法	実習テストの結果/授業の出席率/授業内での、事前事後学習の成果
テキスト・参考書等	3つの教材を配布。1つは基礎訓練としてのみ使用。
備考	講師が語る内容を録音して頂きますので、録音機能のついた物を準備してください。筆記用具を準備してください。飲み物も持参してください。

科目名	パントマイム入門								
担当教員	山田 棟司								
講師紹介	パントマイスト／年間のベストアーティストに選出。「大道芸ワールドカップin静岡」に6年出場。「しまじろうのまねっこダンス」「ためしてガッテン」他多数出演。担当教員はマイミストとしての実務経験を活かし、基礎から応用までのパントマイム指導が可能である。								
開講年次	1年次/2年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・パントマイムの基本テクニックの習得(かべ、ふうせん、つなひき、マイムウォーク) ・日常のマイム表現(ドア、顔を洗う、洋服を着る) 								
授業概要	オーディションなどでパントマイムの演技が求められても対応できるテクニックを身につけてもらう。さらに舞台でもセリフ無しで身体だけで存在感のある演技ができるようになってもらう。同時に普段の生活から人間観察や無意識にしている行動を意識化することを学んでもらう。毎回の授業は1.体操→2.テクニック→3.発表 と進めていきます。最終日に学んだテクニックを使って作品発表。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業ガイダンス、体操、空間の固定 2. 無対象の棒を扱う 3. 無対象の刀でエアーチャンバラ 4. 無対象のかべ 5. ドアを開ける 6. かべを越える 7. 無対象のふうせん 8. マイムウォーク 9. 無対象のつなひき 10. 今までのテクニックを使って「ストーリーマイム」を作る 11. 「ストーリーマイム」を先生に見てもらって手直りする 12. 「ストーリーマイム」を先生に見てもらって手直りする 13. 「ストーリーマイム」を先生に見てもらって手直りする 14. 「ストーリーマイム」に音響をつけてみる 15. 「ストーリーマイム」発表会 								
評価方法	授業出席数/最終日の発表内容								
テキスト・参考書等	無し								
備考	ジャージなど動きやすい服装。足元は靴下もしくは裸足、バレエシューズもOK。								

科目名	舞台演劇鑑賞									
担当教員	中島 信行・船場 吉行・矢代 久美子									
講師紹介	東京アナウンス学院校長・教員／東放学園就任以来、演技・舞台に関連する学科にて勤務してきた複数名の教員によるオムニバス形式の授業です。									
開講年次	1年次/2年次	必/選	選択	授業形態	講義	時間数	72時間	開講時期	前期/後期	
到達目標	<p>★様々なジャンルの舞台演劇を鑑賞し、感性を豊かにする。</p> <p>★プロの俳優の演技を観て、自分の表現の幅を広げる。</p> <p>★考えや感想をレポートにすることで、文章能力を身につける。</p>									
授業概要	新劇をはじめとして小劇場演劇、商業演劇など様々なジャンルの舞台演劇を映像で鑑賞します。3名の教員がそれぞれのテーマに合わせた作品を選択し、作品や上演団体、上演された時代背景などを解説し、理解を深めていきます。翌週のレポート提出が必須です。									
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス(授業内容・鑑賞作品の説明・レポートについて)・お試し鑑賞 2. セリフ劇を観る～日本語について考える 3. 特殊な舞台装置の中で演じる役者を見る 4. 映像メディアで活躍する俳優・女優の舞台演技を知る① 5. セリフ劇を観て話すことについて考える 6. 下北沢3劇場を走り回る役者とリアルに芝居が進行する面白さを見る 7. 映像メディアで活躍する俳優・女優の舞台演技を知る② 8. 代表的な演出家が創った有名な作品を観る 9. アクションエンターテイメント演劇 殺陣、歌、芝居を面白さを見る 10. 映像メディアで活躍する俳優・女優の舞台演技を知る③ 11. 上映を考えた舞台公演・エンターテイメントを観る 12. 作・演出・主演とワンマンで演じる俳優宅間孝行ワールドを見る 13. 映像メディアで活躍する俳優・女優の舞台演技を知る④ 14. 劇場が工事現場 お客を巻き込んでの演劇を見る 15. 劇場見学 									
評価方法	観劇後、指定用紙に感想レポートを記載し提出。その内容・回数によって評価する。									
テキスト・参考書等	講師作成の印刷物を毎回配布									
備考	特になし									

科目名	卒業制作(鷹澤)								
担当教員	鷹澤 洋介								
講師紹介	東京アナウンス学院教員。文教大学文学部卒業後、同大学にて2年間の助手を経て、本学に就任。主に進路・就職指導を担当。その後東放学園キャリアサポートセンターにてエンターテインメント業界と学生を結ぶ窓口として活躍、現在に至る。								
開講年次	2年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	72時間	開講時期	後期
到達目標	合同コントの授業と連動して協調性を養い、集団で一つのライブを作ることの難しさ、楽しさを知る。卒業後の単独公演などで、オリジナリティのある舞台を制作できる能力を身につける。								
授業概要	2年間学んできたことを生かした集大成のライブを制作する。アイデアを出し合い、企画・構成などを考えコースの専門性を生かしつつ、毎月のライブとは違ったオリジナルな内容を作っていきます。進級発表よりもよりクオリティの高いライブを目指し、卒業後の単独公演を想定したプロの舞台制作をする。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ライブテーマについて話し合い 2. テーマに沿った出し物を考える① 3. テーマに沿った出し物を考える② 4. 構成台本作成① 5. 構成台本作成② 6. 出し物練習① 7. 出し物練習② 8. 出し物練習③ 9. 小道具・衣装制作① 10. 小道具・衣装制作② 11. 場当たり・稽古① 12. 場当たり・稽古② 13. 通し稽古① 14. 通し稽古② 15. 振り返り～総まとめ 								
評価方法	発表の練習、準備などの積極的な参加。当日発表のクオリティ。								
テキスト・参考書等	特になし								
備考									

科目名	卒業制作(SAKURA)									
担当教員	SAKURA									
講師紹介	ダンサー／「TUBE」「及川光博」「堀江由衣」「鈴木亜美(a-nation)」等バックダンサー。紅白、Mステ出演。アイドルや声優等の振り付けアシスタント。担当教員はダンサーとして専門ジャンルに長け、数多くの実務経験に基づいて指導を行う。									
開講年次	2年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	72時間	開講時期	後期	
到達目標	卒業公演に向けて、良いパフォーマンス作品を作れるようになってもらいたい。 後輩にもしっかりとお手本となるように、引っ張って行ってもらいたい。									
授業概要	自分達のパフォーマンスにおいて、更に意欲的に取り組んでもらい、強化していきます。それと同時に、卒業公演の作品づくりに積極的に取り組んでもらい、1年生との関わりも深めてもらいながら、2年生としてしっかり中心に立ってもらい、パフォーマンスの製作や話し合い、事務的な役割分担なども無駄な時間なく、余裕をもって進めていけるようにします。 最後の卒業公演でしっかりとパフォーマンスをやり切る事ができるように進めていきます。									
授業計画	1.	アップ・ストレッチ・筋カトレーニング・リズムトレーニング・作品づくり・1年生との合同楽曲の話し合いや練習①								
	2.	アップ・ストレッチ・筋カトレーニング・リズムトレーニング・作品づくり・1年生との合同楽曲の話し合いや練習②								
	3.	アップ・ストレッチ・筋カトレーニング・リズムトレーニング・作品づくり・1年生との合同楽曲の話し合いや練習③								
	4.	アップ・ストレッチ・筋カトレーニング・リズムトレーニング・作品づくり・1年生との合同楽曲の話し合いや練習④								
	5.	アップ・ストレッチ・筋カトレーニング・リズムトレーニング・作品づくり・1年生との合同楽曲の話し合いや練習⑤								
	6.	アップ・ストレッチ・筋カトレーニング・リズムトレーニング・作品づくり・1年生との合同楽曲の話し合いや練習⑥								
	7.	アップ・ストレッチ・筋カトレーニング・リズムトレーニング・作品づくり・1年生との合同楽曲の話し合いや練習⑦								
	8.	アップ・ストレッチ・筋カトレーニング・リズムトレーニング・作品づくり・1年生との合同楽曲の話し合いや練習⑧								
	9.	アップ・ストレッチ・筋カトレーニング・リズムトレーニング・作品づくり・1年生との合同楽曲の話し合いや練習⑨								
	10.	アップ・ストレッチ・筋カトレーニング・リズムトレーニング・作品づくり・1年生との合同楽曲の話し合いや練習⑩								
	11.	アップ・ストレッチ・筋カトレーニング・リズムトレーニング・作品づくり・1年生との合同楽曲の話し合いや練習⑪								
	12.	アップ・ストレッチ・筋カトレーニング・リズムトレーニング・作品づくり・1年生との合同楽曲の話し合いや練習⑫								
	13.	アップ・ストレッチ・筋カトレーニング・リズムトレーニング・作品づくり・1年生との合同楽曲の話し合いや練習⑬								
	14.	アップ・ストレッチ・筋カトレーニング・リズムトレーニング・作品づくり・1年生との合同楽曲の話し合いや練習⑭								
	15.	アップ・ストレッチ・筋カトレーニング・リズムトレーニング・作品づくり・1年生との合同楽曲の話し合いや練習⑮								
評価方法	平常点 / 成果発表									
テキスト・参考書等										
備考	時間を無駄にしないように、しっかりと練習を行ってください。									

科目名	ネタみせ・お笑いライブⅢ								
担当教員	大輪 貴史								
講師紹介	元お笑い芸人「大輪教授」。2014年に構成作家に転向。以来、テレビ・お笑いライブ等の構成を手がけ、若手お笑い芸人の育成にも力を入れる。担当教員は芸人の経験があり現在は講師作家として多くの番組を手がけている。この実務経験を活かし本講座の指導にあたる。								
開講年次	2年次	必/選	必選	授業形態	実習	時間数	54時間	開講時期	前期
到達目標	漫才、コントなどのお笑いの「ネタ」を自分で作る。お客様の前で披露して、笑いをとれるようにする。								
授業概要	お笑い芸人の必須要素である、漫才やコントなどの『ネタ』を自分で考え、作っていきます。ライブで発表する前に『ネタみせ』として講師に披露。より笑いを取るためのアドバイスを受けたり、舞台の使い方、演技方、やってはいけないことなどを学んでいきます。またプロになった際に受けるオーディションのシミュレーションや、学校主宰のお笑いライブへの出演準備も兼ねています。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. ネタみせ、お笑いライブの準備① 3. ネタみせ、お笑いライブの準備② 4. ネタみせ、お笑いライブの準備③ 5. ネタみせ、お笑いライブの準備④ 6. ネタみせ、お笑いライブの準備⑤ 7. ネタみせ、お笑いライブの準備⑥ 8. ネタみせ、お笑いライブの準備⑦ 9. ネタみせ、お笑いライブの準備⑧ 10. ネタみせ、お笑いライブの準備⑨ 11. ネタみせ、お笑いライブの準備⑩ 12. ネタみせ、お笑いライブの準備⑪ 13. ネタみせ、お笑いライブの準備⑫ 14. ネタみせ、お笑いライブの準備⑬ 15. ネタみせ、お笑いライブの準備⑭ 								
評価方法	平常点、授業の理解、成果発表								
テキスト・参考書等	特になし								
備考	ネタは“自分たちで作る”のが基本原則です。台本作成、稽古して完成させた上で、授業に臨んでください。								

科目名	バラエティ演技・バラエティライブⅢ								
担当教員	古田 清尊								
講師紹介	構成作家／お笑いのイベントを中心に様々な舞台に携わる。近年はコンサート等の音楽分野の制作も手掛けるようになる。担当教員は講師作家として多くの番組を手がけている。この実務経験を活かし本講座の指導にあたる。								
開講年次	2年次	必/選	必選	授業形態	実習	時間数	54時間	開講時期	後期
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生とグループで発表をすることで、率先して出し物の企画案を出し、まとめていく。 ・後輩に指導をすることで、人間的にも成長する。 								
授業概要	グループワークの中で、短編芝居、即興演技などを組み合わせて表現することを学ぶ。演技の指導。月に1回の学内ライブ(発表会)での出し物を決め、発表する。台本は自分たちで考えたものに、講師が直しを入れて完成させていく。より演技力を求められるコメディの芝居に挑戦する。グループワークの中で、短編芝居、即興演技などを組み合わせて表現することを学ぶ								
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> 1□ 授業説明・ガイダンス□ 2□ 学内ライブの出し物を考える 3□ 学内ライブ出し物稽古 / ショートコメディ1 4□ ライブ用に自己PR・特技を考える / ショートコメディ2 5□ 学内ライブ発表・反省会 / ライブアンケートの評価・感想 6□ 学内ライブでの出し物を考える / ショートコメディ3 7□ 学内ライブ出し物稽古 / ショートコメディ4 8□ 学内ライブ発表・反省会 / ライブアンケートの評価・感想 9□ 学内ライブでの出し物を考える / アクターズトレーニング 10□ 学内ライブ出し物稽古 / アクターズトレーニング 11□ 学内ライブ出し物稽古 / アクターズトレーニング 12□ 学内ライブ発表・反省会 / ライブアンケートの評価・感想 13□ 学内ライブでの出し物を考える / アクターズトレーニング 14□ 学内ライブ出し物稽古 / アクターズトレーニング 15□ ライブ発表・反省会 / ライブアンケートの評価・感想 								
評価方法	授業出席率、授業態度、学内ライブの出来、ライブのアンケート評価								
テキスト・参考書等	オリジナルショートコントの台本 / 学内ライブアンケート								
備考									

科目名	ライブパフォーマンス・ヴォーカルライブⅢ								
担当教員	SAKURA								
講師紹介	ダンサー／「TUBE」「及川光博」「堀江由衣」「鈴木亜美(a-nation)」等バックダンサー。紅白、Mステ出演。アイドルや声優等の振り付けアシスタント。担当教員はダンサーとして専門ジャンルに長け、数多くの実務経験に基づいて指導を行う。								
開講年次	2年次	必/選	必選	授業形態	実習	時間数	54時間	開講時期	前期
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・プロを意識したダンスやフォーメーションを実践することで、より高い表現力を身に付ける ・パフォーマンスの振付を考えられるようになる ・メンバー全員の意識を高め定期イベントを成功させる 								
授業概要	オリジナルの課題曲で振付し、1人1人のキャラクターを生かしたパフォーマンス、チームプレイの大切さ、踊りながらの歌唱など、これまでに修得した内容を更に高いレベルに引き上げプロとしての表現力を身につけます。授業はイベントを想定し毎回ダンスの振付のレクチャー、学生達自身での振付の考案、動画を撮影しフォーメーション等の確認は欠かせない。後期はこれまでの授業の成果をあらゆる方面で活かし、メンバー全員で観客の前でパフォーマンスを実践、イベントを成功させる。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自己紹介 1年生も含め授業概要の説明 2. 前列に立ち見本になってもらい全員で簡単なレッスン 3. 定期イベントの創作 4. イベント練習 5. イベントリハーサル 6. イベント本番 7. ダンスレッスン 8. ダンスレッスン2 9. ダンスレッスン3 10. 定期イベントの創作 11. イベント練習 12. イベントリハーサル 13. イベント本番 14. ダンスレッスン4 15. 前期(主にイベント)の振り返りと反省 								
評価方法	出席率 / 平常点 / ライブの出演回数								
テキスト・参考書等	オリジナル曲のCD 音源 / スマートフォン								
備考									

科目名	ネタみせ・お笑いライブⅣ									
担当教員	大輪 貴史									
講師紹介	元お笑い芸人「大輪教授」。2014年に構成作家に転向。以来、テレビ・お笑いライブ等の構成を手がけ、若手お笑い芸人の育成にも力を入れる。担当教員は芸人の経験があり現在は講師作家として多くの番組を手がけている。この実務経験を活かし本講座の指導にあたる。									
開講年次	2年次	必/選	必選	授業形態	実習	時間数	54時間	開講時期	後期	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・月に1度の学内ライブ用のネタを月1本以上作り続けネタが作れるようになる ・ネタだけでなくライブでの道具出し、誘導、受付などスタッフワークも完璧にできるようになる 									
授業概要	各授業で学んだことを活かし、ピン・コンビ・トリオなどでオリジナルのネタを作り毎週授業内で披露、構成作家やプロダクション関係者からダメ出しをうけて、プロとしてのネタを意識し、精度を更にあげていく。ライブの様子をカメラで撮影し、自分たちで振り返ってみるにより改善点を見つけ、自分たちのキャラクターに合ったオリジナルネタを作り、事務所への所属を目指す。									
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ネタみせ(3分オリジナル)① 2. ネタみせ(3分オリジナル)② 3. ネタみせ(3分オリジナル)③ 4. ネタみせ(3分オリジナル)④ 5. ネタみせ(3分オリジナル) / 学内ライブネタ披露 6. ネタみせ(お笑い青田買い用ネタ、学内ライブ上位3組3分、それ以外1分) 7. ネタみせ(3分オリジナル)⑤ 8. ネタみせ(3分オリジナル)⑥ 9. ネタみせ(3分オリジナル) / プロを意識したネタ 10. ネタみせ(3分オリジナル) / プロを意識したネタ 11. ネタみせ(3分オリジナル) / プロを意識したネタ 12. ネタみせ(3分オリジナル) / プロを意識したネタ 13. ネタみせ(3分オリジナル) / 卒業公演用ネタ 14. ネタみせ(3分オリジナル) / 卒業公演用ネタ 15. ネタみせ(3分オリジナル) / 卒業公演用ネタ 									
評価方法	出席率、授業への積極的参加 / 学内ライブネタランキング投票結果 / 学内ライブアンケート									
テキスト・参考書等	机・椅子、学内ライブアンケート / お笑い青田買いライブアンケート / 撮影用カメラ、YouTube 動画									
備考										

科目名	バラエティ演技・バラエティライブⅣ								
担当教員	古田 清尊								
講師紹介	構成作家／お笑いのイベントを中心に様々な舞台に携わる。近年はコンサート等の音楽分野の制作も手掛けるようになる。担当教員は講師作家として多くの番組を手がけている。この実務経験を活かし本講座の指導にあたる。								
開講年次	2年次	必/選	必選	授業形態	実習	時間数	54時間	開講時期	後期
到達目標	カリメロライブの発表に向け出し物、見せ方を考え、自己プロデュースをできるようにする。カリメロライブの発表を受け、反省点と訂正点を考え、次回のライブにいかせるようにする。自分たちで用意していない、他の人の書いた台本を読み、何を求められているか読み取れるようにする。								
授業概要	学内発表のカリメロライブに向け、そこで発表する内容を考えてきてもらい、授業で発表してもらおう。その発表で見せたかった部分の聞き取りをし、本人の伝えたかった部分が見ている人に伝わっているかを一緒に考え修正をしていく。グループ発表も授業内で行い、自分にはどういうことが求められているのかを考えてもらおう。考えること大勢いる中で個性を出す大切さを理解してもらおう。発表の時に学生内にも意見を聞き色々なパターンを考えると同時に聞く力、理解する力をつけてもらいます。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. カリメロライブの演目確認、夏休み中の目標達成の確認 2. カリメロライブの演目の発表、見せ方の訂正 3. カリメロライブの演目の発表、直してきた部分の確認 4. ライブに向け最終調整 5. こちらで用意した台本や発表にグループで考えてもらおう 6. カリメロライブの演目確認、先週の台本や発表を披露 7. カリメロライブの演目の発表、内容見せ方の訂正 8. カリメロライブの演目の発表、直してきた部分の確認 9. ライブに向け最終調整 10. 自分たちでTVや舞台を意識してコーナーを考えてみる 11. カリメロライブの演目確認、先週考えたコーナーを具体的に考える 12. カリメロライブの演目の発表、直してきた部分の確認 13. カリメロライブの演目発表、直してきた部分の確認 14. ライブに向け最終調整 15. 自分たちで考えたコーナーをやり、いい部分悪い部分を考える 								
評価方法	平常点、授業の理解、成果発表								
テキスト・参考書等	必要に応じて配布								
備考									

科目名	ライブパフォーマンス・ヴォーカルライブⅣ								
担当教員	SAKURA								
講師紹介	ダンサー／「TUBE」「及川光博」「堀江由衣」「鈴木亜美(a-nation)」等バックダンサー。紅白、Mステ出演。アイドルや声優等の振り付けアシスタント。担当教員はダンサーとして専門ジャンルに長け、数多くの実務経験に基づいて指導を行う。								
開講年次	2年次	必/選	必選	授業形態	実習	時間数	54時間	開講時期	後期
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・プロを意識したダンスやフォーメーションを実践することで、より高い表現力を身に付ける ・パフォーマンスの振付を考えられるようになる ・メンバー全員の意識を高め定期イベントを成功させる 								
授業概要	オリジナルの課題曲で振付し、1人1人のキャラクターを生かしたパフォーマンス、チームプレイの大切さ、踊りながらの歌唱など、これまでに修得した内容を更に高いレベルに引き上げプロとしての表現力を身につけます。授業はイベントを想定し毎回ダンスの振付のレクチャー、学生達自身での振付の考案、動画を撮影しフォーメーション等の確認は欠かせません。後期はこれまでの授業の成果をあらゆる方面で活かし、メンバー全員で観客の前でパフォーマンスを実践、イベントを成功させます。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 後期初回のイベントに向けての創作 / ダンスレッスン 2. イベント練習 3. イベントリハーサル 4. イベント本番 5. イベント振り返り、反省 / ダンスレッスン2 6. イベント創作 7. イベント練習 8. イベントリハーサル 9. イベント本番 10. イベント振り返り、反省 / ダンスレッスン3 11. イベント創作 12. イベント練習 13. イベントリハーサル 14. イベント本番 15. 1年間の振り返り、反省 / ダンスレッスン4 								
評価方法	出席率 / 平常点 / ライブの出演回数								
テキスト・参考書等	オリジナル曲のCD音源 / スマートフォン								
備考									

科目名	バラエティ番組演習Ⅲ								
担当教員	佐藤 俊明								
講師紹介	構成作家／よしもとの劇場作家として活動。現在は「Q様!!」「みなさんのおかげでした」「山里亮太の不毛な議論」他、テレビ・ラジオ・ネット番組等の構成を手掛ける。担当教員は講師作家として多くの番組を手がけている。この実務経験を活かし本講座の指導にあたる。								
開講年次	2年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期
到達目標	バラエティ番組の出演者として求められる振る舞いやルールなどの応用を学ぶ。実際のバラエティ番組で即戦力となれる芸人・タレントを育成する。								
授業概要	バラエティ番組やライブなどで行われる企画、コーナーを授業でピックアップし、実際に演者となって演習する。より実践的に演者としての振る舞いやルールを学び、バラエティ番組に欠かせない力を養っていくことを目指す。また、近年求められるコメンテーターとしてのトーク力やバランス力などにも触れる。バラエティ番組演習Ⅲでは、基礎はしっかり押さえつつ、応用的な部分を中心に指導していく。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス・授業概要 2. ゲームコーナー応用① 3. ゲームコーナー応用② 4. ゲームコーナー応用③ 5. コメンテーター企画① 6. コメンテーター企画② 7. ゲームコーナー応用④ 8. ゲームコーナー応用⑤ 9. ゲームコーナー応用⑥ 10. 炎上を防ぐ知識、放送禁止用語を学ぶ 11. トーク力をつけるゲームコーナー応用① 12. トーク力をつけるゲームコーナー応用② 13. 大喜利のルール＆発想方法を学ぶ 14. ゲームコーナー応用⑦ 15. まとめ・総括 								
評価方法	平常点、授業の理解度								
テキスト・参考書等	オリジナルのゲームコーナー台本、テキストを使用								
備考									

科目名	バラエティ番組演習Ⅳ								
担当教員	佐藤 俊明								
講師紹介	構成作家／よしもとの劇場作家として活動。現在は「Q様!!」「みなさんのおかげでした」「山里亮太の不毛な議論」他、テレビ・ラジオ・ネット番組等の構成を手掛ける。担当教員は講師作家として多くの番組を手がけている。この実務経験を活かし本講座の指導にあたる。								
開講年次	2年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	後期
到達目標	バラエティ番組の応用を身に付け、実践に活用できる。振る舞い・ルール・意図などをより深く理解する								
授業概要	バラエティ番組の応用編として、基本で学んだことを自身のプレースタイルやキャラクターに活かせるよう、より実践的なゲームコーナーや企画を学びます。また番組を作っている制作サイドの目線も学びます。授業では、毎回バラエティ番組を想定した企画やゲームコーナーを演習形式で行います。時折、パワーポイントなどを使用した講義形式の授業も行います。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内容のガイダンス 2. バラエティのゲームコーナー応用編Ⅳ－① 3. バラエティのゲームコーナー応用編Ⅳ－② 4. バラエティのゲームコーナー応用編Ⅳ－③ 5. トーク力を鍛えるゲームコーナー応用編① 6. トーク力を鍛えるゲームコーナー応用編② 7. トーク力を鍛えるゲームコーナー応用編③ 8. 個々のキャラクターを磨くゲームコーナー① 9. 個々のキャラクターを磨くゲームコーナー② 10. アドリブ力を磨くゲームコーナー① 11. アドリブ力を磨くゲームコーナー② 12. お笑い芸人の立場からのコメンテーター体験 13. 台本の意図を正しく汲み取るゲームコーナー① 14. 台本の意図を正しく汲み取るゲームコーナー② 15. 卒業後プロになってからの心得 授業まとめ 								
評価方法	平常点(主体的な習得意欲、出席含む)、授業の理解度								
テキスト・参考書等	毎回授業内容に沿ったオリジナル台本・資料を配布								
備考	体を動かすゲームコーナーもあるので動きやすい服装が望ましい。								

科目名	漫才Ⅲ								
担当教員	中島 たもつ								
講師紹介	太田プロ、マセキ芸能社、オスカープロ、スターダストプロモーション主催ライブ(構成とネタ見せ)「笑っていいとも」「エンタの神様」等の構成。R-1ぐらんぷり審査員。担当教員は講師作家として多くの番組を手がけている。この実務経験を活かし本講座の指導にあたる。								
開講年次	2年次	必/選	選択	授業形態	講義	時間数	36時間	開講時期	前期
到達目標	自分がおもしろいと感じるものは何なのかを理解し、それをネタに落とし込む。ネタ以外の平場でのポジションと立ちふるまいを覚える。								
授業概要	自分がおもしろいと思うことが入れ込んであるネタと自分のキャラクターがベースになったエピソードトークを中心にすすめます。その他、賞レースについての解説や、今のお笑いライブシーンの説明。各お笑いプロダクションの特徴なども説明します。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 漫才の練習方法 2. 好きな漫才師のネタの完コピ 3. ネタ作りに必要なモノの見方の説明 4. モノの見方でネタ作り① 5. モノの見方でネタ作り② 6. ネタのテーマの選び方を説明 7. 今、年令でネタ作り① 8. 今、年令でネタ作り② 9. 感情の起伏でネタ作り① 10. 感情の起伏でネタ作り② 11. それぞれのネタを発表 12. オリジナルネタ作りとネタ見せ① 13. オリジナルネタ作りとネタ見せ② 14. 個人面談 15. これまでのまとめと質疑応答 								
評価方法	平常点、毎回の課題発表レベルは重視します。								
テキスト・参考書等	無し								
備考									

科目名	バラエティ表現Ⅲ								
担当教員	鷹澤 洋介・後藤 浩孝								
講師紹介	東京アナウンス学院教員。文教大学文学部卒業後、同大学にて2年間の助手を経て、本学に就任。主に進路・就職指導を担当。その後東放学園キャリアサポートセンターにてエンターテインメント業界と学生を結ぶ窓口として活躍、現在に至る。								
開講年次	2年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期
到達目標	自身と向き合い、表現することの楽しさと難しさを考えさせながら、自分をアピールする方法について学ぶ								
授業概要	自分が表現したいことを形にする授業。演技・歌・ダンス・レポートなど分野を問わず、表現したいことを追及する。動画やライブ配信などを実践して、様々な自己表現の形を体験してみる。バラエティ演技の授業と連動して、また月に1度の学内ライブで発表する出し物についての話し合い、台本作成、稽古もする。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業概要説明 2. 自分と向き合いウリになるものを探す / 学内ライブ出し物を考える 3. 「私は〇〇〇だ」20 個以上 / 学内ライブ出し物決定 4. 学内ライブ出し物稽古 5. 学内ライブ反省、映像で振り返り / 学内ライブ出し物について考える 6. 他人から見た自分 / 学内ライブ出し物稽古 7. 学内ライブ出し物稽古 8. 学内ライブ反省、映像で振り返り / 学内ライブ出し物について考える 9. 学内ライブ出し物稽古 10. 学内ライブ出し物稽古 / 星誕オーディション自己アピール対策① 11. 学内ライブ出し物稽古 / 星誕オーディション自己アピール対策② 12. 学内ライブ反省、映像で振り返り / 学内ライブ出し物について考える 13. 学内ライブ出し物稽古 / 星誕オーディション自己アピール対策③ 14. 学内ライブ出し物稽古 / 星誕オーディション自己アピール対策④ 15. 学内ライブ反省、映像で振り返り / 前期の反省 								
評価方法	平常点、授業への積極的な参加								
テキスト・参考書等	YouTube 動画 / 自己分析プリント								
備考									

科目名	ヴォイストレーニングⅢ								
担当教員	谷口 守								
講師紹介	ミュージシャン・ヴォイストレーナー・作曲家／ソニーレコードよりデビュー。ヴォーカルトレーナーFlorence Riggs氏に師事。現在は自らのソロ及びライブ活動。担当教員はヴォーカリストとしての実演経験を生かし、発声や歌い方等の授業を行う。								
開講年次	2年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・リズム感や表現力等、ヴォーカリストに必要なものを構築。 ・歌唱に必要な基本を学び、ステージ等人前で歌う事に対するスキルを身につける。 ・唄だけではなく、リズム感や表現力等、ヴォーカリストに必要なものを学習する。 								
授業概要	ピアノを使用しての発声練習を通して、1年次に学んだ「ヴォーカルレッスンⅠ・Ⅱ」を定着させ確実に身につける。基本の発声練習、課題曲による発声チェックは毎回必ず行う。またヴォーカリストとしての声の出し方に着目し、各自の個性を磨き他にない魅力を引き出していく。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 各自のレベルチェック 2. 基本発声練習 課題曲による発声・表現力チェック ヴォーカリストとしての声の出し方研究1 3. 基本発声練習 課題曲による発声・表現力チェック ヴォーカリストとしての声の出し方研究2 4. 基本発声練習 課題曲による発声・表現力チェック ヴォーカリストとしての声の出し方研究3 5. 基本発声練習 課題曲による発声・表現力チェック ヴォーカリストとしての声の出し方研究4 6. 基本発声練習 課題曲による発声・表現力チェック ヴォーカリストとしての声の出し方研究5 7. 基本発声練習 課題曲による発声・表現力チェック ヴォーカリストとしての声の出し方研究6 8. 基本発声練習 課題曲による発声・表現力チェック ヴォーカリストとしての声の出し方研究7 9. 基本発声 唄とリズム感 / 総合的な各自の中間チェック 10. 基本発声 唄とリズム感 / 課題楽曲による各自のチェック8 11. 基本発声 唄とリズム感 / 課題楽曲による各自のチェック9 12. 基本発声 唄とリズム感 / 課題楽曲による各自のチェック10 13. 基本発声 唄とリズム感 / 課題楽曲による各自のチェック11 14. 基本発声 唄とリズム感 / 課題楽曲による各自のチェック12 15. 試験 1コーラス歌唱& MC / 各自の成長チェック 								
評価方法	出席率 / テスト								
テキスト・参考書等	ピアノ / マイク / ミキサー / iPad								
備考									

科目名	漫才Ⅳ								
担当教員	中島 たもつ								
講師紹介	太田プロ、マセキ芸能社、オスカープロ、スターダストプロモーション主催ライブ(構成とネタ見せ)「笑っていいとも」「エンタの神様」等の構成。R-1ぐらんぷり審査員。担当教員は講師作家として多くの番組を手がけている。この実務経験を活かし本講座の指導にあたる。								
開講年次	2年次	必/選	選択	授業形態	講義	時間数	36時間	開講時期	後期
到達目標	自分が面白いと思うことをコンパクトに伝える。最短の言葉数でオチに向かっていく。平場でのポジションと立ち振る舞いを実践する。								
授業概要	自分とお客さんが面白いと思うことが入れ込んであるネタと自分のキャラクターがベースになった最近のエピソードトークを中心に進めます。その他、賞レースについての解説や今のお笑いライブシーンの説明。各お笑いプロダクションの特徴なども説明し、卒業後に向けた“プロのお笑い芸人“に必要な指導をします。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ネタに不可欠な「感情の起伏」の説明① 2. ネタに不可欠な「感情の起伏」の説明② 3. 感情の起伏を取り入れて全員でネタ作り① 4. 感情の起伏を取り入れて全員でネタ作り② 5. 感情の起伏を取り入れて全員でネタ作り③ 6. 感情の起伏を取り入れた漫才を全員が披露 7. これまでに習った「お笑い要素」を全て盛り込んだオリジナルネタ作り① 8. これまでに習った「お笑い要素」を全て盛り込んだオリジナルネタ作り② 9. これまでに習った「お笑い要素」を全て盛り込んだオリジナルネタ作り③ 10. 完成したオリジナルネタのネタ見せ① 11. 完成したオリジナルネタのネタ見せ② 12. 個人面談① 13. 個人面談② 14. 2年生後期のまとめと質疑応答 15. 2年間の総復習とプロのお笑い芸人について 								
評価方法	平常点(主体的な習得意欲、出席含む), 授業の理解度, 成果発表								
テキスト・参考書等									
備考									

科目名	バラエティ表現Ⅳ								
担当教員	鷹澤 洋介・後藤 浩孝								
講師紹介	東京アナウンス学院教員。文教大学文学部卒業後、同大学にて2年間の助手を経て、本学に就任。主に進路・就職指導を担当。その後東放学園キャリアサポートセンターにてエンターテインメント業界と学生を結ぶ窓口として活躍、現在に至る。								
開講年次	2年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	後期
到達目標	今までのバラエティ表現で学んだ自己表現をさらに発展させ、SNS 上などで自己発信をする方法について考える。								
授業概要	自分が表現したいことを形にする授業。演技・歌・ダンス・レポートなど分野を問わず、表現したいことを追及する。動画やライブ配信などを実践して、様々な自己表現の形を体験してみる。バラエティ演技の授業と連動して、また月に1度の学内ライブで発表する出し物についての話し合い、台本作成、稽古もする。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業概要説明 2. 自分と向き合いウリになるものを探す / 学内ライブ出し物を考える 3. 「私は〇〇〇だ」20 個以上 / 学内ライブ出し物決定 4. 学内ライブ出し物稽古 5. 学内ライブ反省、映像で振り返り / 学内ライブ出し物について考える 6. 他人から見た自分 / 学内ライブ出し物稽古 7. 学内ライブ出し物稽古 8. 学内ライブ反省、映像で振り返り / 学内ライブ出し物について考える 9. 学内ライブ出し物稽古 10. 学内ライブ出し物稽古 11. 学内ライブ出し物稽古 12. 学内ライブ反省、映像で振り返り / 学内ライブ出し物について考える 13. 学内ライブ出し物稽古 14. 学内ライブ出し物稽古 15. 学内ライブ反省、映像で振り返り / 反省 								
評価方法	平常点、授業への積極的な参加								
テキスト・参考書等	スマートフォン / スマートフォンアプリ / YouTube 動画								
備考									

科目名	ヴォイストレーニングⅣ								
担当教員	谷口 守								
講師紹介	ミュージシャン・ヴォイストレーナー・作曲家／ソニーレコードよりデビュー。ヴォーカルトレーナーFlorence Riggs氏に師事。現在は自らのソロ及びライブ活動。担当教員はヴォーカリストとしての実演経験を生かし、発声や歌い方等の授業を行う。								
開講年次	2年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	後期
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・プロとしての声・体・技術を身に付ける ・譜力を身につけ音符を見て歌える力を付ける 								
授業概要	最後の期にあたりここまで「ヴォーカルⅠ・Ⅱ・Ⅲ」で学んだ事の全てを歌唱に結び付けていく。授業方法としては、ピアノを使った発声練習やヴォーカリストとして声を出す為のストレッチを行う。また、ハーモニーアンサンブルを通して自分のピッチを確認できるよう繰り返し、身に付くまで行う。また読譜力を身につけるために毎度譜面チェックを課し音符を見て歌える力をつけていく。授業の際には総まとめとしての試験を行う。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 各自のここまでのレベルチェック 2. 発声 課題曲によるハーモニー 譜面チェック アンサンブルとしての声の出し方研究 3. 発声 課題曲によるハーモニー 譜面チェック アンサンブルとしての声の出し方研究2 4. 発声 課題曲によるハーモニー 譜面チェック アンサンブルとしての声の出し方研究3 5. 発声 課題曲によるハーモニー 譜面チェック アンサンブルとしての声の出し方研究4 6. 発声 課題曲によるハーモニー 譜面チェック アンサンブルとしての声の出し方研究5 7. 発声 課題曲によるハーモニー 譜面チェック アンサンブルとしての声の出し方研究6 8. 発声 課題曲によるハーモニー 譜面チェック アンサンブルとしての声の出し方研究7 9. 発声 課題曲によるハーモニー 譜面チェック アンサンブルとしての声の出し方研究8 10. 発声 課題曲によるハーモニー 譜面チェック アンサンブルとしての声の出し方研究9 11. 発声 課題曲によるハーモニー 譜面チェック アンサンブルとしての声の出し方研究10 12. 発声 課題曲によるハーモニー 譜面チェック アンサンブルとしての声の出し方研究11 13. 発声 課題曲によるハーモニー 譜面チェック アンサンブルとしての声の出し方研究12 14. 後期のまとめ 15. 期末試験 								
評価方法	平常点 / 試験								
テキスト・参考書等	ピアノ / マイク / ミキサー / iPad								
備考									

科目名	コントⅢ								
担当教員	大山 敏								
講師紹介	構成作家／元ひょうきんディレクター荻野繁氏に師事。「ライオンのごきげんよう」・東京都主催「東京スポーツタウン2012-14」他多数の企画・構成・脚本担当。担当教員は講師作家として多くの番組を手がけている。この実務経験を活かし本講座の指導にあたる。								
開講年次	2年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期
到達目標	それぞれ組んでいるコンビ・ピン・トリオで、より実践的なコントのネタ作りを学ぶ。卒業後、プロダクションに所属した後にも使える自分たちのコントを1本でも多く残すことを目指します。								
授業概要	それぞれ組んでいるコンビ・ピン・トリオで、コントを作ります。台本のクオリティー・演技力の向上を実践形式で学んでいきます。前期では特に、ショートコントや1分ネタなど短い時間を中心に学びます。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内容ガイダンス 2. ショートコント、ネタみせ & ネタの直し① 3. ショートコント、ネタみせ & ネタの直し② 4. ショートコント、ネタみせ & ネタの直し③ 5. ショートコント、ネタみせ & ネタの直し④ 6. 1分ネタのコント ネタ見せ & ネタの直し① 7. 1分ネタのコント ネタ見せ & ネタの直し② 8. 1分ネタのコント ネタ見せ & ネタの直し③ 9. 1分ネタのコント ネタ見せ & ネタの直し④ 10. 無声コント 無声コントを作る 11. 無声コント ネタ見せ & ネタの直し① 12. 無声コント ネタ見せ & ネタの直し② 13. 1分ネタのコントネタ見せ① 14. 1分ネタのコントネタ見せ② 15. 1分ネタのコントネタ見せ③ 								
評価方法	平常点、その他								
テキスト・参考書等									
備考									

科目名	ソロヴォーカル I								
担当教員	吉野 聡留								
講師紹介	ボカリスト・ボイストレーナー／'01dhuoTwo-facedデビュー。現在はフリーで主にスタジオワーク、アーティストのサポートコーラスやナレーター、作詞等。担当教員はボカリストとして活躍。この実務経験を活かし本講座の指導にあたる。								
開講年次	2年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期
到達目標	個々のうたのスキルをあげ、表現力を身につける。自らの声を知り、それぞれの癖や特性を活かした自己表現を目指す。								
授業概要	個々のキャラクターに合った楽曲を選定し、それぞれの目標や課題に合わせた個人レッスンをを行います。具体的な表現の仕方、呼吸や声の使い方などの、すぐに使えるテクニックから、長期的観点から本人の基礎力となりうる日々のトレーニングの仕方などもレクチャーしていきます。レッスンと日々の自主練習のくり返しの中で、ひとりでステージに立ちパフォーマンスできる表現力と自信をつけていきます。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 個々のキャラクターと将来像の確認 2. 自己の声、音域等を分析 3. 音域、声質に合った楽曲の選考① 4. 練習曲においての課題の洗い出し 5. 表現や練習方法についてのアドバイス 6. 歌い込み、仕上げ 7. 楽曲の選考② 8. 課題の洗い出し 9. 表現、練習方法についてのアドバイス 10. 歌い込み、仕上げ 11. 楽曲の選考③ 12. 課題の洗い出し 13. 表現、練習方法についてのアドバイス 14. 歌い込み、仕上げ 15. まとめ 								
評価方法	平常点/成果発表								
テキスト・参考書等									
備考									

科目名	コントⅣ								
担当教員	大山 敏								
講師紹介	構成作家／元ひょうきんディレクター荻野繁氏に師事。「ライオンのごきげんよう」・東京都主催「東京スポーツタウン2012-14」他多数の企画・構成・脚本担当。担当教員は講師作家として多くの番組を手がけている。この実務経験を活かし本講座の指導にあたる。								
開講年次	2年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	後期
到達目標	卒業後プロダクション所属した時でも通用するコントを作れるようにする。芸人としてプロとして通用するスキルを身につける。								
授業概要	卒業後プロダクションに所属することを前提としてプロの芸人として通用するコントのスキルを身につけます。これまで学んできた台本制作・演技・演出をより一層レベルの高い山へと上積みしていきます。きっちり見せきるコントの他にアドリブコント、コーナーコントなどを実践形式でやっていき、アドリブ力・対応力を鍛えていきます。後半では、より実践的に「ダメ出し」に対してのネタの直し方を学んでいきます。								
授業計画	1.	コントネタみせ	①	アドリブコント①					
	2.	〃	②						
	3.	〃	③						
	4.	〃	④	コーナーコント①					
	5.	〃	⑤	〃					②
	6.	〃	⑥	〃					③
	7.	〃	⑦	即興コント					①
	8.	〃	⑧	〃					②
	9.	〃	⑨	〃					③
	10.	〃	⑩	〃					④
	11.	〃	⑪	ダメ出しの直し方①					
	12.	〃	⑫	〃					②
	13.	〃	⑬	〃					③
	14.	〃	⑭	〃					④
	15.	〃	⑮	振り返り・卒業後のアドバイス					
評価方法	出席率 / 授業への積極性 / 学内ライブアンケート								
テキスト・参考書等	既存のショートコント台本 / オリジナルコント台本 / コントの動画 / 映画								
備考	特になし								

科目名	ソロヴォーカルⅡ								
担当教員	吉野 聡留								
講師紹介	ボカリスト・ボイストレーナー／'01dhuoTwo-facedデビュー。現在はフリーで主にスタジオワーク、アーティストのサポートコーラスやナレーター、作詞等。担当教員はボカリストとして活躍。この実務経験を活かし本講座の指導にあたる。								
開講年次	2年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	後期
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の声、歌い方のクセなどを自覚する ・練習の仕方を習得する ・1人でパフォーマンスできる表現力と自信をつける 								
授業概要	個々のキャラクターに合った楽曲を選定し、それぞれの目標や課題に合わせた個人レッスンをを行います。具体的な表現の仕方、呼吸や声の使い方などの、すぐに使えるテクニックから、長期的観点から本人の基礎力となりうる日々のトレーニングの仕方などもレクチャーしていきます。レッスンと日々の自主練習のくり返しの中で、ひとりでステージに立ち、パフォーマンスできる表現力と自信をつけていきます。期末にはレコーディングをし、自己の成長を確認します。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 音域や声質に合った楽曲を選曲 2. 歌唱。表現、発声、練習方法などアドバイス 3. 歌唱。課題を自己分析、歌い込み 4. 歌唱。仕上げ 5. 音域や声質、前曲の課題を踏まえ楽曲を選曲 6. 歌唱。表現、発声、練習方法などアドバイス 7. 歌唱。課題を自己分析、歌い込み 8. 歌唱。仕上げ 9. 音域や声質、前曲の課題を踏まえ楽曲を選曲 10. 歌唱。表現、発声、練習方法などアドバイス 11. 歌唱。課題を自己分析、歌い込み 12. 歌唱。仕上げ 13. まとめのレコーディング曲の選曲 14. レコーディング 15. レコーディング 								
評価方法	平常点/ 授業の理解度								
テキスト・参考書等									
備考	未記入								

科目名	合同コント								
担当教員	大山 敏								
講師紹介	構成作家／元ひょうきんディレクター荻野繁氏に師事。「ライオンのごきげんよう」・東京都主催「東京スポーツタウン2012-14」他多数の企画・構成・脚本担当。担当教員は講師作家として多くの番組を手がけている。この実務経験を活かし本講座の指導にあたる。								
開講年次	2年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	後期
到達目標	コント台本の作り方、演技力、演出力をより一層高いレベルで理解し会得する。卒業公演をゴールに設定し、全体のパッケージ作り、VTRコント、合同コントなど作業分担しながら全員で卒業公演を作ります。								
授業概要	卒業公演をゴールにし、全体パッケージ、VTRコント、合同コントを全員で作業分担し、作り上げていきます。作業を通じて責任を負い、グループ全体でクオリティの向上、演技力やコント力の向上を目指します。								
授業計画	1. 卒業公演に向けてのパッケージ作り 2. 大枠の構成 3. 担当ごとの台本作り ①キャスト割り振り 4. " ② 5. ネタみせ ① 6. " ② 7. " ③ 8. 映像制作、合同コント制作 ・ネタみせ① 9. " ② 10. " ③ 11. " ④ 12. 通しRH 13. 通しRH 14. 通しRH 15. ゲネプロ								
評価方法	平常点 成果発表								
テキスト・参考書等	特になし								
備考	特になし								

科目名	ネット動画制作Ⅱ								
担当教員	鷹澤 洋介・後藤 浩孝								
講師紹介	東京アナウンス学院教員。文教大学文学部卒業後、同大学にて2年間の助手を経て、本学に就任。主に進路・就職指導を担当。その後東放学園キャリアサポートセンターにてエンターテインメント業界と学生を結ぶ窓口として活躍、現在に至る。								
開講年次	2年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・TwitterやYouTubeなどSNSに掲載できる動画を作れるようになる。 ・学内ライブの告知動画や面白動画などの基本的な作り方をスマートフォンアプリで制作できるようになる。 ・SNSの最新情報を知り、いち早く活用できるようになる。 								
授業概要	人を集めるためSNSでの動画の効果を学ぶ。配信を実際に行うことにより、フォロワー数の重要性や、ネタ動画を作る上での構成、テロップなどの効果を知る。移り変わりの激しいSNSの流行を素早く捉え、対応できるようにする。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス / SNSでの動画の効果について知る 2. スマートフォンアプリによる動画の編集基礎。学内ライブTwitter告知動画制作。 3. SNSオリジナル楽曲PV撮影の出演。 4. YouTube用面白動画制作。撮影・編集。優秀作品は公式YouTubeにUP。 5. YouTube用面白動画制作。撮影・編集。優秀作品は公式YouTubeにUP。 6. チームに分かれての自主バラエティ番組風動画の企画。 7. 自主バラエティ番組風動画の撮影・編集。 8. バーチャルYouTuber(バーチャルタレント)最新事情。Vtuber動画制作。 								
評価方法	授業への積極的な参加 / 動画作品提出								
テキスト・参考書等	動画の効果についてのプリント / スマートフォン、ipad、Mac / TVモニター								
備考	不定期開催。課題提出が必須。								

科目名	MC・トーク								
担当教員	森 雅紀								
講師紹介	ラジオDJ・パーソナリティー・俳優／ラジオDJ・テレビのレポーター・イベントMC・ナレーション・舞台役者・講師など多岐にわたる。担当教員はパーソナリティーとして数々の番組を担当。この実務経験を活かして本講座の指導にあたる。								
開講年次	2年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期
到達目標	まずは、テーマとなる事象に対して、自分の意見や考えをしっかりと持つ事から始めていきます。伝えたい内容を自分の言葉でトークを構築することを目指します。								
授業概要	毎回、1つのテーマを出題し、自分なりに意見や考えをまとめてもらいます。知識がないのであれば、まずは調べて考えをまとめる。体験をしたことがあるのであれば、そこから感じた事、学んだ事を整理し、伝えたい内容を言葉にしていきます。相手が聞きたい内容は何か？どんな言葉、構成でトークをしたら伝わるのか、自分軸ではなく、相手軸で構成していきましょう。レポートも同様に、相手がどのように反応するのか想像しながら、トークを構成していきます。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. フリートークを構成するためのポイント 2. テーマに沿ってトークを考える 3. // 4. // 5. ラジオのレポート、TV のレポートの違い 6. // 7. ラジオ番組を体験 8. ラジオ番組でフリートーク 9. // 10. 2人で掛け合いトーク 11. // 12. 台詞に感情をのせてトークする 13. // 14. テーマトーク 15. テーマトーク 								
評価方法	平常点、授業の理解度、成果発表								
テキスト・参考書等									
備考									

科目名	タレント心得講座Ⅱ								
担当教員	太平 真平								
講師紹介	カタリスト／吉本興業より松竹芸能へ、漫才コンビ「BANGBANG」3年連続NHK漫才コンテストに出場。64年サンミュージックでタレント。(株)ビス・ブレインズ代表。担当教員は芸能業界において造詣が深く数多くの実績を持つ。この経験を活かし本講座の指導にあたる。								
開講年次	2年次	必/選	選択	授業形態	講義	時間数	36時間	開講時期	通年
到達目標	<p>○前期に関しては星誕オーディションでの全員合格を目指すこと。</p> <p>○後期は、1人1人の目標を定めそこへ向けての指導及びアドバイス。</p> <p>○プロとしての心構えを習得してもらう。</p>								
授業概要	<p>前期に関しては1年間やってきた事を振り返り、身につけている事、身につけていない事を理解し、そして自分に合う将来への方向性を見極め、星誕オーディションを中心に他のオーディションにも合格できるよう指導及びアドバイスしていく。</p> <p>後期に関しては、技術やテクニックを身につけてもらうためのレッスンや講義及び各個人に対してアドバイス及び指導を行ってまいります。</p>								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 前期の授業内容と進め方について 2. ネタ及び自己アピール作りにおける作成のおさらい 3. ネタ及び自己アピールの実戦形式での指導及びアドバイス 4. オーディションにおける受かり方のコツについて 5. ネタ及び自己アピールの実戦形式での指導及びアドバイス 6. 各自(ピン・コンビ)におけるキャラクター設定の作り方 7. ネタ及び自己アピールの実戦形式での指導及びアドバイス 8. 前期の授業の総括及び星誕オーディションに向けての心構 9. 後期の授業の進め方およびポイントについて 10. プロに必要なネタ及びアピールのやり方について 11. プロで通用する自己プロデュースのやり方について 12. プロとしてやっていい事、悪い事のみきわめ方 13. プロとして必要な思考のつかい方 14. プロとしてお金を稼ぐマインドセットのやり方 15. 大人としてどのように生きていくかについて 								
評価方法	平常点(主体的な習得意欲、出席含む)／授業の理解／成果発表／その他(授業への態度及び将来への目標)								
テキスト・参考書等	必要に応じて用意いたします。								
備考	筆記用具、原稿用紙の持参。遅刻及び欠席の連絡を徹底。								

科目名	プロデューサーゼミⅡ								
担当教員	久保 ことし								
講師紹介	音楽プロデューサー、作曲家、編曲家／TM Network、安室奈美恵、鈴木あみ、hitomi、篠原涼子、観月ありさ、globe、浜崎あゆみ、渡辺美里等多数。担当教員は数多くのボーカリストに楽曲を提供、並びに歌唱指導の実務経験を活かし本講座の指導にあたる。								
開講年次	2年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期
到達目標	個性ある歌を歌えるようになる。 歌唱の本質を理解する。								
授業概要	レコーディング作業を通じて、歌唱の基本を学び、自分の長所と短所を見つめ直して、歌うことの本質を探ります。自分の歌を自分で聴くことが、上達の近道です。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. 個別歌唱① 3. 個別歌唱② 4. 個別歌唱③ 5. 個別歌唱④ 6. 個別歌唱⑤ 7. 個別歌唱⑥ 8. 個別歌唱⑦ 9. 個別歌唱⑧ 10. 個別歌唱⑨ 11. 個別歌唱⑩ 12. 個別歌唱⑪ 13. 個別歌唱⑫ 14. 個別歌唱⑬ 15. まとめ 								
評価方法	平常点/その他(意欲)								
テキスト・参考書等	カラオケで歌います								
備考									

科目名	キャラヴォイスⅡ								
担当教員	押田 浩幸								
講師紹介	俳優・声優／アーツビジョン・劇団あかぺら倶楽部所属。アニメ「霸王体系リューナイト」他。舞台「パパ・アイ・ラブ・ユー(デーヴィット・モーティマー)」他多数出演。担当教員は数多くの舞台・TV出演の経験があり、俳優としての実務経験に基づいて授業を実施する。								
開講年次	2年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期
到達目標	マイク前で声の演技力を身につけて貰います。								
授業概要	一年時に基礎は伝えてありますので、より演技を大きく、そしてマイクに乗る発声を求めます。なるべく多くの台本を使い、さまざまな役を演じて貰い表現力を身につけて貰います。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内容のガイダンス 2. 台本の読み合わせ 3. 台本の読み合わせ② 4. 収録 5. 収録したものを聞き、反省点を話し合う 6. 台本の読み合わせ 7. 台本の読み合わせ② 8. 収録 9. 収録したものを聞き、反省点を話し合う 10. 台本の読み合わせ 11. 台本の読み合わせ② 12. 台本の読み合わせ③ 13. テスト収録 14. 収録本番 15. 反省会 								
評価方法	平常点/ 授業の理解/ 成果発表								
テキスト・参考書等	台本を毎回こちらから配布します。								
備考	収録時の服装は、マイクに雑音が入らないような服装を願います。								

科目名	レコーディングワークⅠ								
担当教員	ヒルマ 弘								
講師紹介	ミュージシャン/「No!Galers」ボーカリスト。現在は「ザ・トロフィーズ」在籍。神谷浩史・木村佳乃・椎名へきる等歌詞提供、コーラスレコーディングを手掛ける。担当教員は数多くのボーカリストに楽曲を提供、並びに歌唱指導の実務経験を活かし本講座の指導にあたる。								
開講年次	2年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期
到達目標	オリジナル楽曲の制作を通して、自分のオリジナリティを高めていく。また繰り返し、歌い聞く事によって、より良い作品に仕上げる。								
授業概要	デジタル技術の進化によりレコーディング作業はより身近なものになってきました。以前は高価だったこの作業も今やパソコン1台あれば、グレードの幅こそあれ出来てしまいます。この授業では、毎月行われる学内イベント「ねこぱんち」、年度末の「卒業公演」の課題曲を通して、オリジナル曲の作词、歌割り、ハーモニー作り、レコーディングスタジオでの作業の仕方、機材の操作を学びます。また作ったオリジナル楽曲は録音して、編集、トラックダウンと実際にプロの現場で行われる過程を編集していきます。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 楽曲選択、キー合せ 2. 歌詞制作 3. 歌詞制作② 4. イベントへ向けてのリハーサル 5. イベントへ向けてのリハーサル② 6. イベントへ向けてのリハーサル③ 7. 楽曲選択、キー合せ 8. 歌詞制作 9. 歌詞制作② 10. イベントへ向けてのリハーサル 11. イベントへ向けてのリハーサル② 12. イベントへ向けてのリハーサル③ 13. 卒業公演配布CDレコーディング 14. 卒業公演配布CDレコーディング② 15. 卒業公演配布CDレコーディング③ 								
評価方法	平常点/その他(イベントでの成果)								
テキスト・参考書等	オリジナル楽曲をDLで配布します。								
備考									

科目名	レコーディングワークⅡ								
担当教員	ヒルマ 弘								
講師紹介	ミュージシャン/「No!Galers」ボーカリスト。現在は「ザ・トロフィーズ」在籍。神谷浩史・木村佳乃・椎名へきる等歌詞提供、コーラスレコーディングを手掛ける。担当教員は数多くのボーカリストに楽曲を提供、並びに歌唱指導の実務経験を活かし本講座の指導にあたる。								
開講年次	2年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	後期
到達目標	オリジナル楽曲の制作を通して、自分だけの個性を見つけ出し、繰り返し歌い、聞く事によって、作品のブラッシュアップに努め、レコーディングスタジオの用語、機材の使い方を身に付ける。								
授業概要	デジタル技術の進化によりレコーディング作業は身近なものになって来ました。以前は高価だったこの作業も今やパソコン1台あれば、グレードの幅こそあれ形になります。この授業では、毎月行われる学内イベント「ねこぱんち」、年度末の「卒業公演」の課題曲を通して、オリジナル楽曲の作词、歌割り、ハーモニー作り、レコーディングスタジオでの作業の流れ、機材の操作を身に付けます。また作ったオリジナル曲は録音して、編集、トラックダウンと、プロの現場で行われる過程を経験していきます。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 夏休み前に配布した新曲の歌詞、歌割り、ハーモニーを制作① 2. 夏休み前に配布した新曲の歌詞、歌割り、ハーモニーを制作② 3. 夏休み前に配布した新曲の歌詞、歌割り、ハーモニーを制作③ 4. 仕上げ作業 5. イベントに向けてのリハーサル① 6. イベントに向けてのリハーサル② 7. イベントに向けてのリハーサル③ 8. イベントに向けてのリハーサル④ 9. 卒業公演で配布するオリジナル曲のCD制作、レコーディング① 10. 卒業公演で配布するオリジナル曲のCD制作、レコーディング② 11. 卒業公演で配布するオリジナル曲のCD制作、レコーディング③ 12. 卒業公演で配布するオリジナル曲のCD制作、レコーディング④ 13. 卒業公演で配布するオリジナル曲のCD制作、レコーディング⑤ 14. 卒業公演のリハーサル① 15. 卒業公演のリハーサル② 								
評価方法	平常点 / その他(ねこぱんち、卒業公演の成果は重視します)								
テキスト・参考書等									
備考									

科目名	タレントネットSNS活用講座									
担当教員	佐藤 俊明									
講師紹介	構成作家／よしもとの劇場作家として活動。現在は「Q様!!」「みなさんのおかげでした」「山里亮太の不毛な議論」他、テレビ・ラジオ・ネット番組等の構成を手掛ける。担当教員は講師作家として多くの番組を手がけている。この実務経験を活かし本講座の指導にあたる。									
開講年次	1年次/2年次	必/選	選択	授業形態	講義	時間数	36時間	開講時期	後期	
到達目標	タレント活動における有効的なネットやSNSの活用方法を学び、タレントとしての振る舞いやマナー、時代にあった武器を身につける。									
授業概要	ネットやSNSの発展により、タレントのあり方や売れ方も時代と共に変化してきている。キャスティングでもSNSの登録者数で優先的に選ばれるような事例も多く、時代に沿ったタレント活動の戦略や注意点、さらには自身から発信できる力や自己プロデュース力なども触れていき、今の時代にアジャストできるタレントの育成を目指します。									
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス・自己紹介・授業概要説明 2. SNSの活用方法①・NG事項 3. SNSの活用方法②・SNS使い分け 4. YouTubeのジャンル選定方法・チャンネル登録者数の増やし方 5. YouTubeのタイトルの決め方・キーワード選定方法 6. 学生プレゼンテーション①、YouTubeの収益化を早める方法 7. 学生プレゼンテーション②、YouTubeの関連動画対策 8. 学生プレゼンテーション③、炎上の利用・対策法の注意点 9. 学生プレゼンテーション④、ネットゲーム配信の活用 10. 学生プレゼンテーション⑤、自身のチャンネルを提案してみよう！ 11. 学生プレゼンテーション⑥、動画のタイトルを決めてみよう！ 12. 学生プレゼンテーション⑦、関連動画の繋がりを学ぶ 13. 学生プレゼンテーション⑧、チャンネルを開設してみよう！ 14. 学生プレゼンテーション⑨、チャンネルの動画をあげよう！ 15. 学生プレゼンテーション⑩、チャンネル開設結果発表！ 									
評価方法	平常点/ 授業の理解/ 成果発表									
テキスト・参考書等	オリジナルの教材を使用									
備考	特になし									

科目名	学園行事Ⅱ								
担当教員	船場 吉行(他、教員が担当)								
講師紹介	1993年東京アナウンス学院就任。東放学園高等専修学校を経て、東京アナウンス学院放送声優科を担当、進路指導に携わる。現在は学科を離れ経験を活かした授業等を担当の他、マネジメント業務に従事する。								
開講年次	2年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	72時間	開講時期	通年
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・学園行事を通じて様々なイベントを体験することで協調性とコミュニケーション能力が高まる ・社会性。一定のルールの下で行動することで、自身がクラスやグループの一員であることを自覚する。 								
授業概要	<p>学生が2年間で体験する学園生活の中で、起点となるイベントは卒業後振り返ってみても実に思い出深いものになることが多い。本校の学園行事は日頃の専門教育から離れて学科間を越え、時には学校間を越えて、ひとつのことを共に経験する過程で得る、貴重な体験を積んでほしい。通り一遍の参加ではなく、積極的な取り組みを願う。</p>								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. クラス合宿① 2. クラス合宿② 3. 東放学園合同運動会 4. スポーツ大会 5. 学園祭① 6. 学園祭② 								
評価方法	イベント毎に参加した際の平常点を総合して判断								
テキスト・参考書等	特になし								
備考	現地集合のイベントの場合は交通事情をよく調べてから行動を起こすこと								

科目名	芸術鑑賞Ⅱ								
担当教員	船場吉行他(クラスアドバイザー、教員)								
講師紹介	1993年東京アナウンス学院就任。東放学園高等専修学校を経て、東京アナウンス学院放送声優科を担当、進路指導に携わる。現在は学科を離れ経験を活かした授業等を担当の他、マネジメント業務に従事する。								
開講年次	2年次	必/選	必修	授業形態	講義	時間数	36時間	開講時期	通年
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・エンターテインメントの華やかなパフォーマンスに刺激を受け授業の糧にする。 ・実際の舞台上で演じる役者のセリフや動き見て、授業等の課題について考えることができる。 ・進路先選びの参考になる 								
授業概要	<p>専門分野の知識・見識を高めるためにプロのパフォーマンスを鑑賞することは重要なことである。芸術鑑賞は該当する学科が学年に応じてテーマを持ち、将来進むエンターテインメント業界の仕事を垣間見る機会をつくる。世間の誰もが知る劇団や評判の高いプロデュース公演、大小様々劇場や美術、場内アナウンスに至るまですべてを吸収して刺激を受けよう。</p>								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 鑑賞作品(1)タイトル未定／作品については劇団、主催等が提案する年次の公演一覧から担当者目的に応じて、作品のテーマ・演出家・出演者等から選ぶ 2. 鑑賞作品(2)タイトル未定／上記に同じ 3. 鑑賞作品(3)タイトル未定／上記に同じ 4. 鑑賞作品(4)タイトル未定／上記に同じ 								
評価方法	参加当日の平常点と鑑賞後のレポートを重視								
テキスト・参考書等	レポート用紙(個人で用意)								
備考	観劇中のマナーは要注意								

科目名	女性バラエティタレント実習								
担当教員	佐藤 俊明・鷹澤 洋介								
講師紹介	構成作家／よしもとの劇場作家として活動。現在は「Q様!!」「みなさんのおかげでした」「山里亮太の不毛な議論」他、テレビ・ラジオ・ネット番組等の構成を手掛ける。担当教員は講師作家として多くの番組を手がけている。この実務経験を活かし本講座の指導にあたる。								
開講年次	1年次/2年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期
到達目標	女性バラエティタレントに求められる能力や要素を学ぶ。お笑い芸人さんや番組スタッフとの関わり方も学ぶ。								
授業概要	バラエティにおいて女性タレントに求められる役割などを理解することで活躍する可能性を高める。実際にゲームコーナー・企画を通じて実習で覚えていただく。また、実際にプロとして活躍する芸人さんを招いての授業もおこないます。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス、自己紹介 2. バラエティ番組基礎Ⅰ 基本 3. バラエティ番組基礎Ⅱ お笑い芸人との関わり方 4. バラエティタレントとネット・SNS の活用 5. バラエティ番組のワイプ芸・リアクション芸を学ぶ 6. バラエティ番組のオーディション対策 7. 女性芸人さんor 女性タレントさん 特別授業、食レポ体験 8. ゲームコーナー基本Ⅰ 9. ゲームコーナー基本Ⅱ 10. コント体験 11. コント作成実習 12. コント発表会 13. リポーター・コメンテーター体験 14. お笑い芸人さんを招いてゲームコーナー実習 15. 授業まとめ 								
評価方法	出席率・理解度・平常点で評価								
テキスト・参考書等	オリジナル台本/ オリジナルパワーポイント資料など								
備考	実習ですので、ゲームコーナーや企画に参加できる態勢で来てください。※ゲームコーナー・企画は基本毎回行います。								

科目名	セルフプロモーション								
担当教員	青木 裕之								
講師紹介	プロデューサー／ウッチャンナンチャンのマネージャーを経てワタナベエンターテインメント入社。統括チーフプロデューサー歴任。07年(株)Dig-est設立(代表取締役)。担当教員は長年業界に携わり多くの新人を輩出。この実務経験を活かして本講座の指導にあたる。								
開講年次	1年次/2年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期/後期
到達目標	オーディションに対する準備や心構えを理解する。人前に立って話をするときの表情の使い方を知る。								
授業概要	セルフプロデュース力を鍛えることは学生にとって進路を考える上でとても大切なことです。人前に立った時に自分自身をアピールするチャンスはいつやって来るかわかりません。「自分の声は?」「表情は?」「質問されたときのリアクションや、オーディション用紙の準備は?」正しい答えはありません。みなさんの中にある答えをアドバイスします。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. セルフプロモーションを受講するにあたってその心構え、モチベーション等 2. オーディション用紙の書き方、直し 3. 地声の出し方 自分の名前の発声の仕方 呼吸法① 4. 地声の出し方 自分の名前の発声の仕方 呼吸法② 5. 表情筋の鍛え方① 6. 表情筋の鍛え方② 7. 言葉と表現 色々な感情の出し方① リアクション、言葉遊び 8. 言葉と表現 色々な感情の出し方② リアクション、言葉遊び 9. 言葉と表現 色々な感情の出し方③ リアクション、言葉遊び 10. 言葉と表現 色々な感情の出し方④ リアクション、言葉遊び 11. 中間地点フィードバック 12. セルフプロモーション実践① 自己PR発表 13. セルフプロモーション実践② 自己PR発表 14. セルフプロモーション実践③ 自己PR発表 15. 今期の振り返り フリートーク 今後の話 								
評価方法	平常点/セルフプロモーション実践時の発表								
テキスト・参考書等	オーディション用紙(所定)								
備考	恥ずかしがらないで前に出てきましょう								

科目名	VTuber動画制作								
担当教員	鷹澤 洋介								
講師紹介	東京アナウンス学院教員。文教大学文学部卒業後、同大学にて2年間の助手を経て、本学に就任。主に進路・就職指導を担当。その後東放学園キャリアサポートセンターにてエンターテインメント業界と学生を結ぶ窓口として活躍、現在に至る。								
開講年次	1年次/2年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	後期
到達目標	Vtuber のオリジナリティあふれる動画の制作ができるようになる。チームを組んでの作業をするため、コミュニケーション能力や協調性が身につく。バーチャルタレントの演者だけでなく、キャラクター設定・ストーリー作り・背景画のデザイン・動画編集など、個人の得意分野を活かしての作品作りができる。Vtuber 動画の制作過程を一通り経験し、動画制作の楽しさを理解できるようになる。								
授業概要	Vtuber(バーチャルキャラクター)を使って5～10分のオリジナルの動画を制作する。5～6名のチームを組んで、台本作り・背景画デザイン・編集・声の演技・歌・ダンス・モーションアクターなど、自分の得意なジャンルで能力を活かして作品制作に参加をする。スタジオをつかってのレコーディング、モーションキャプチャーを使っての映像収録をして、Vtuber の制作過程を学ぶことができる。授業の最後に作品の発表と、テーマや制作過程における経験プレゼンする。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. チーム分け・テーマ決定 3. 台本作り・キャラクター設定を考える① 4. 台本作り・キャラクター設定を考える② 5. 台本作り・絵コンテ 6. レコーディング(声の演技・歌など)① 7. レコーディング(声の演技・歌など)② 8. レコーディング(声の演技・歌など)③ 9. モーションキャプチャーでの映像収録① 10. モーションキャプチャーでの映像収録② 11. モーションキャプチャーでの映像収録③ 12. Vtuber 映像編集① 13. Vtuber 映像編集② 14. Vtuber 映像編集③ 15. 完成作品発表会・プレゼン 								
評価方法	成果発表、授業への積極的な参加								
テキスト・参考書等									
備考	不定期開講。スケジュールはガイダンスにて説明。教室はレコーディングスタジオや、なかよしスタジオなども使用。レコーディングや編集作業など授業時間以外での作業が必要になる可能性あり。								